

国立国語研究所学術情報リポジトリ

国立国語研究所研究活動一覧（平成16年度）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立国語研究所 公開日: 2024-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/0002000348

国立国語研究所
研究活動一覽
(平成16年度)

Annual Report of Research Activities
The National Institute for Japanese Language
April 2004 - March 2005

国立国語研究所

国立国語研究所
研究活動一覽
(平成16年度)

Annual Report of Research Activities
The National Institute for Japanese Language
April 2004 - March 2005

国立国語研究所

『国立国語研究所研究活動一覧（平成16年度）』について

国立国語研究所では平成7年から9年にかけて『国立国語研究所研究発表資料集』を作成しました。平成10年度からは、その機能を整理・継承する形で『国立国語研究所研究活動一覧』を作成しています。本資料は、その平成16年度版です。

本資料は、(1)研究職員の研究活動を所内外に公表する情報公開のための資料とすること、(2)外部評価のための資料とすることの2点を主たる目的として作成したものです。当該期間における研究職員の成果物である報告書や研究論文等の書誌情報の一覧とともに、個々の研究職員が研究所で行っている研究・事業の課題名、研究所運営に関わるさまざまな業務などを示すことにより、研究職員がどのような研究活動を行っているか、その全体像を広く知っていただくことを企図したものです。なお、研究論文等の具体的内容(本文)については、掲載雑誌等を別途御参照くださるようお願いいたします。

本資料の巻末には、研究会議(研究職員による研究所内部の会議)における研究発表等、所内の各種委員会・部会ならびにその委員・部会員、見学者、平成16年度研究所刊行物などについて、それぞれの一覧を掲載しています。

凡 例

- ・ 平成16年度の研究体制にしたがって、部門を単位として、常勤、及び常勤に準ずる研究職員の研究活動を示しています。
- ・ 研究活動の区分は、以下のようになっています。研究職員によっては、特定の欄が設けられていないことがあります。これは該当する情報がなかったことを示しています。

- 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)
- 2 成果公表活動
 - A 国立国語研究所を刊行元とするもの
 - B 所員が執筆・編集した単行本
 - C 学術雑誌、商業雑誌等に掲載された論文
 - D 論文集等に掲載された論文
 - E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)
 - F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)
- 3 上記以外の所内業務
 - ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等
 - イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等
 - ウ. 各種委員会・部会、研究支援等
 - エ. 見学者への対応等
- 4 所外活動
 - ア. 所外委員会
 - イ. 学会活動
 - ウ. 教育活動
- 5 その他

※ この一覧は、『国立国語研究所研究活動一覧』作成作業班が、基本的に個々の研究職員から寄せられた情報をもとに編集しています。情報はできる限り統一して提示するよう努めました。個々人の判断などによって、必ずしも網羅的でない面や不統一が残っている場合があります。利用にあたってはその点に御留意ください。

目次

『国立国語研究所研究活動一覧（平成16年度）』について

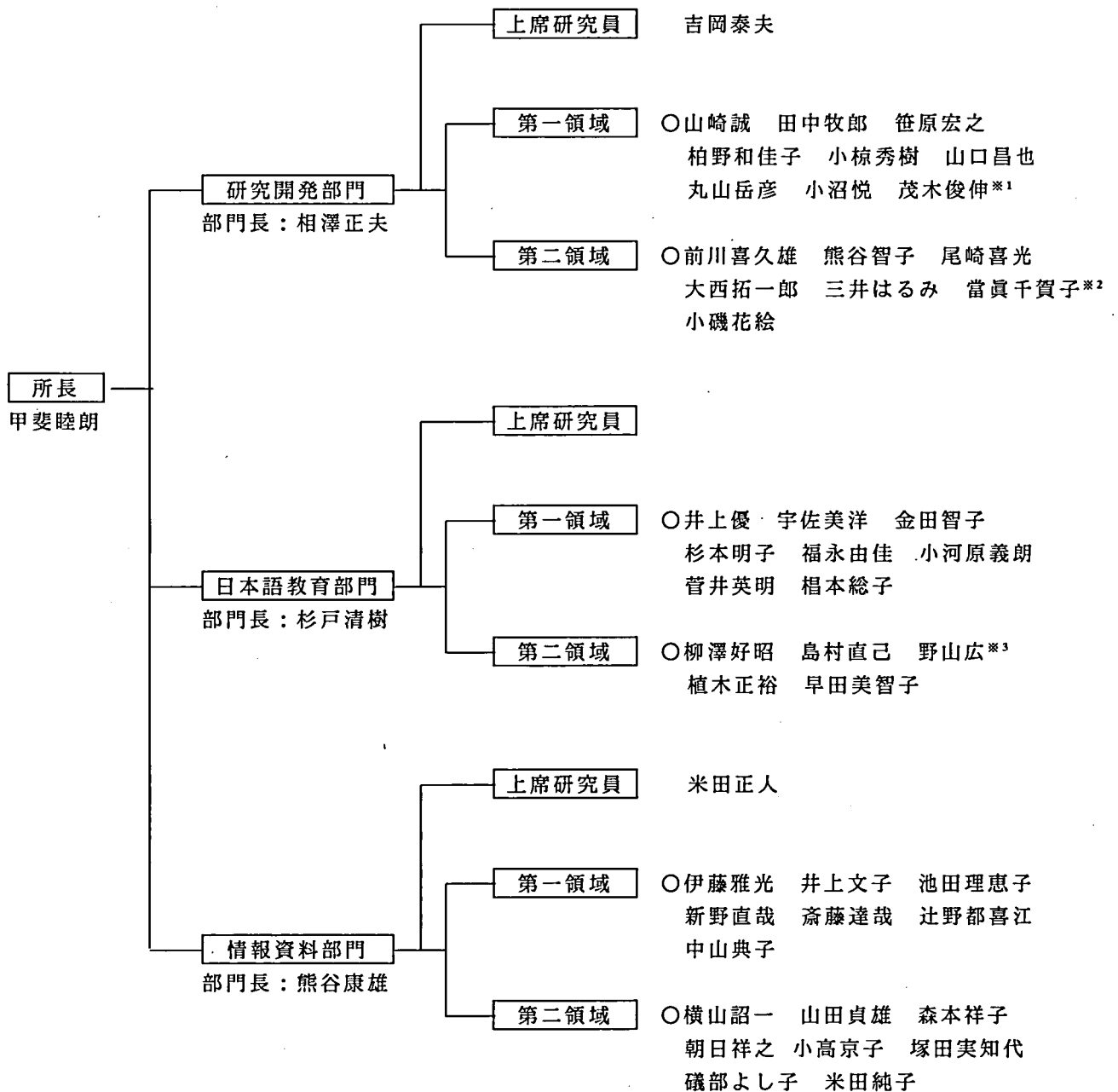
凡 例

研究体制

平成16年度研究活動一覧

所長	3
研究開発部門	6
第一領域	10
第二領域	21
日本語教育部門	30
第一領域	33
第二領域	46
情報資料部門	53
第一領域	55
第二領域	62
平成16年度研究会議・研究発表一覧	73
平成16年度所内委員会委員・部会員一覧	74
平成16年度刊行物検討委員会一覧	78
平成16年度所内見学者一覧	79
平成16年度招へい研究員一覧	80
平成16年度非常勤研究員等一覧	81
平成16年度滞在研究員受入一覧	83
平成16年度外国出張一覧	84
平成16年度国立国語研究所刊行物一覧	89

研究体制 (平成17年3月31日現在)



○印は領域長

※1 平成17年3月30日退職

※2 平成16年6月30日退職

※3 平成16年5月1日転入

平成16年度
研究活動一覽

所長

甲斐睦朗

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 第3回「外来語」言い換え提案－分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫－, 2004年10月
- 『第11回国立国語研究所国際シンポジウム報告書「世界の〈外来語〉の諸相 標準化・活性化を目指す言語生活の多様性」』, 2005年3月
- 「日本の漢字使用の現状と漢字政策」, 『海外言語政策関係参考資料3「韓国『漢字教育と漢字政策についての国際学術会議 予稿集』』, pp.33-44, 2005年3月
- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』, 座談会1件, 2005年3月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「国語研究の最先端①日本語を海にたとえてみると」, 『文化庁月報』, No.427, p.30, ぎょうせい, 2004年4月
- 「国民の読み書き能力にかかわる漢字の問題」, 『時報市町村教委』, No.190, pp.14-17, 全国市町村教育委員会連合会
- 「言葉による伝え合い」, 『日本語学』, Vol.23 No.10, pp.6-11, 明治書院, 2004年8月
- 「今なぜ活字文化か」, 『GYROS』, Vol.9, pp.124-138, 勉誠出版, 2004年12月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 「日本の最近の国語施策について」, 華東師範大学 編『中国の日本語教育と国際化』, 新世紀華東地区首届大学日本語教学研究国際研究会, 華東師範大学, 2004年4月
- 「日本の漢字使用の現状と漢字政策」, 韓国語文教育研究会 編『漢字教育と漢字政策についての国際学術会議』, pp.50-61, 韓国語文教育研究会, 2004年9月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「国語研究所の『西が丘時代』」, 第24回ことばフォーラム「国立国語研究所の歩み－西が丘時代を中心に－」, 2004年12月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』, 協力
- 『第3回「外来語」言い換え提案－分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫－』, 企画・編集
- 『海外言語政策関係参考資料3「韓国『漢字教育と漢字政策についての国際学術会議 予稿集』』, 企画・編集
- 『国語年鑑2004年版』, 協力
- 『第11回国立国語研究所国際シンポジウム報告書「世界の〈外来語〉の諸相 標準化・活性化を目指す言語生活の多様性」』, 協力

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員長
- 国際交流委員会委員長

- 普及広報委員会委員長
- 大学院運営委員会委員長
- 外来語所内委員会委員長
- 移転整備実施委員会委員長

4 所外活動

ア. 所外委員会

- (財) NHK 放送研修センター理事
- (財) 教育研究振興会評議員
- (社) 国際日本語普及協会評議員
- (財) 日本語教育振興協会理事
- (財) 博報児童教育振興会博報賞審査委員長
- (独) 国際交流基金日本語国際センター事業協力委員
- 旺文社学芸科学コンクール最終審査委員
- 東京都教育委員会児童・生徒の学力向上を図るための調査問題作成部会及び結果分析部会委員
- 国語力向上に関する教育推進会議委員
- 大学評価・学位授与機構評価委員会専門委員
- 中央教育審議会専門委員
- 特定非営利法人言語資源協会理事
- 文化審議会国語分科会臨時委員
- PISA・TIMSS 対応ワーキンググループ委員
- 読売新聞社活字文化推進会議推進委員
- 読売新聞社全国小・中学校作文コンクール中央審査委員
- 読売新聞東京本社新聞監査委員会審査委員

イ. 学会活動

- 日本語学会評議員
- 表現学会理事

5 その他

- コラム監修, 「漢字発見!」, 読売新聞夕刊
- 出演, 「金田一春彦さんをしのぶ」, NHK 教育テレビ, 2004 年 5 月
- 出演, 「日本語の現在」, 『KBS 特別企画ードキュメント韓国語ー』, 韓国放送公社, 2004 年 5 月
- 取材対応, 「方言とことばの教育」, 東京大学新聞, 2004 年 6 月
- コメント掲載, 「名めぐり議論」, 読売新聞, 2004 年 6 月
- 執筆, 「追悼 林大先生を悼む」, 『月刊日本語』, Vol.17-6, p.26, 2004 年 6 月
- コメント掲載, 「あらずじ本人気」, 読売新聞, 2004 年 7 月
- 取材対応, “English buzzwords that puzzle the Japanese face exit,” FINANCIAL TIMES, 2004 年 7 月
- 講演, 「日本語から見える日本社会の変化」, 中東欧日本語教育研修会, 国際交流基金ブダベスト事務所, 2004 年 7 月
- 講演, 「語彙の研究と指導」, 中東欧日本語教育研修会, 国際交流基金ブダベスト事務所, 2004 年 7 月
- 執筆, 「読書案内ー『評価標準が授業を変える!ー高校国語の評価標準と実践例』, 『月刊国語教育』, Vol.286, p.93, 2004 年 7 月
- 講演, 「最近の国語及び国語教育の動向」, 愛知国語教育研究会, 名古屋市教育館, 2004 年 8 月
- 執筆, 「氾濫する外来語の IT 用語, その最適な使い方と日本語化への一考察」, 『情報通信ジャーナル』 Vol.22-9, p.4, 電気通信振興会, 2004 年 9 月

- インタビュー記事掲載,「ことばの力を考える」,『月刊「悠」』,Vol.21-10, pp.12-15 ぎょうせい, 2004年10月
- 取材対応,「子供?子ども?」,読売新聞, 2004年10月
- 講演,「朝日新聞地方版の確かさのために」,朝日新聞全国総局長研修, 晴海グランドホテル, 2004年10月
- 執筆,「追悼 林大先生」,『国語学』,Vol.55-4, pp.3-8, 2004年10月
- 執筆,「現代の日本語の文字表記の問題」,メトロポリス, 2004年10月
- 取材対応,「カタカナ言葉にもの申す」,『理想の詩』,Vol.27-2, pp.6-9, 理想科学工業株式会社, 2004年11月
- 取材対応,「根石小物語」,読売新聞(名古屋版), 2004年11月
- インタビュー記事掲載,「読み書き能力は向上している」,『週刊教育資料』,Vol. 882,883, pp.3-5, 日本教育新聞社, 2005年1月
- 鼎談,「今求められる国語の力とは」,『国語の力』, pp.1-7, 光村図書, 2005年1月
- 取材対応,「日本人の国語力は大丈夫だ」,『サンデー毎日』,Vol.84-10, pp.148-149, 毎日新聞社, 2005年2月
- 取材対応,「国立国語研究所は、日本でただひとつの国立の国語研究機関です」,『金田一先生の日本語教室』,Vol.1, pp.38-41, 学習研究社, 2005年3月
- インタビュー記事掲載,「教育ルネサンスー読み解く力15」,読売新聞, 2005年3月
- NHK放送開始80周年記念会長感謝状受賞, 2005年3月

研究開発部門

相澤正夫（部門長）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーバスの構築
- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索
- 新世紀日本人のコミュニケーション能力の基盤形成に関する基礎的研究
- 日本語の現在
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム
- 大学院教育（日本語文化研究プログラム）
- 科学研究費補助金 基盤研究 (C) (2) 社会動向を反映した日本語研究のための課題設定に関する基礎的研究（代表者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『第3回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 2004年10月
- 「日本における「外来語」の状況」, 『第11回国立国語研究所国際シンポジウム報告書「世界の〈外来語〉の諸相 標準化・活性化を目指す言語生活の多様性」』, 2005年3月
- 『外来語に関する意識調査II（全国調査）』, 2005年3月
- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』, 参考資料1件, 2005年3月
- 『国語研の窓』, 2件

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「「日本語の現在」をとらえる—最新情報の速報を目指して—」, 『文化庁月報』No.430, p.30, ぎょうせい, 2004年7月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』, Vol.23 No.11, pp.90-91, 明治書院, 2004年9月
- 「「外来語」言い換え提案をささえる意識調査」, 『時報 市町村教委』, No.192, pp.14-17, 全国市町村教育委員会連合会, 2004年9月
- 「言葉は「圧縮」される」, 『情報通信ジャーナル』, Vol.22 No.11, p.38, 電気通信振興会, 2004年11月
- 「「ケータイ」の周辺」, 『情報通信ジャーナル』, Vol.22 No.12, p.38, 電気通信振興会, 2004年12月
- 「国際シンポジウム「世界の〈外来語〉の諸相」紹介」, 『国文学解釈と鑑賞』, Vol.70 No.1, pp.182-196, 至文堂, 2005年1月
- 「「外来語」言い換え提案はどう受け止められているか」, 『文化庁月報』, No.438, p.30, ぎょうせい, 2005年3月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 朝日祥之, 吉岡泰夫, 相澤正夫: 「自治体職員の行政コミュニケーションに見られる地域差」, 『日本方言研究会第79回研究発表会発表原稿集』, pp.43-52, 日本方言研究会, 2004年11月
- 吉岡泰夫, 朝日祥之, 相澤正夫: 「自治体首長・職員の行政コミュニケーション意識」, 『日本語学会2004年度秋季大会予稿集』, pp.151-158, 日本語学会, 2004年11月
- 相澤正夫, 朝日祥之, 吉岡泰夫: 「行政コミュニケーションにおける外来語・略語・専門用語の問題点」, 『社会言語科学学会第15回大会発表論文集』, pp.52-55, 社会言語科学学会, 2005年3月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「外来語の言い換え提案」, 第 23 回ことばフォーラム 「外来語とどう付き合うか」, 2004 年 11 月
- 「「外来語」言い換え提案とそれを支える調査研究」, 北京日本学研究中心講演会, 2004 年 12 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第 23 回ことばフォーラム 「外来語とどう付き合うか」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, 協力
- 『国立国語研究所 研究活動一覧(15 年度)』, 企画・編集
- 『現代雑誌の語彙調査—1994 年発行 70 誌— (国立国語研究所報告 121)』, 刊行物検討委員会委員長
- 『雑誌「太陽」による確立期現代語の研究—『太陽コーパス』研究論文集— (国立国語研究所報告 122)』, 刊行物検討委員会委員長
- 『日本語社会における配慮の言語行動』, 刊行物検討委員会委員長
- 『外来語に関する意識調査II (全国調査)』, 企画・編集
- 『第 3 回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 企画・編集
- 『国語研の窓』, 協力

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 研究企画調整部会員
- 研究計画委員会 研究企画調整部会「研究活動一覧」作成作業班長
- 国際交流委員会委員
- 国際交流委員会 研究交流企画部会員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 企画調整部会長
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 企画部会員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 施設整備委員会委員
- 情報公開委員会委員
- 外来語所内委員会委員
- 移転整備実施委員会委員

エ. 見学者への対応等 4 件

4 所外活動

ア. 所外委員会

- NHK 放送文化研究所レビュー委員
- 東京都外来語言い換え検討委員会学識経験者意見聴取会委員

イ. 学会活動

- 日本語学会評議員

- 日本言語学会委員
- 日本音声学会理事・会則検討委員長・評議員
- 社会言語科学会編集委員
- 査読 国内雑誌 5件

ウ. 教育活動

- 北京日本学研究中心修士論文審査・試問委員

5 その他

- 取材対応・コメント掲載, 「言い換えればわかるかな 外来語→日本語にシフト(移行)」, 朝日中学生ウイークリー, 2004年9月



吉岡泰夫 (上席研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(学校敬語・敬意表現調査報告)
- 新世紀日本人のコミュニケーション能力の基盤形成に関する基礎的研究
- 日本語の現在(意識調査)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「敬語についての規範意識」『日本語社会における配慮の言語行動』, pp.119-150, 2005年3月
- 『外来語に関する意識調査II(全国調査)』, 2005年3月
- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』, 問答1件, 2005年3月

B 所員が執筆・編集した単行本

- 井上史雄, 吉岡泰夫 監修 編『関東の方言-調べてみよう暮らしのことば-』, ゆまに書房, 2004年4月
- 井上史雄, 吉岡泰夫 監修 編『沖縄の方言-調べてみよう暮らしのことば-』, ゆまに書房, 2004年4月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「コミュニケーション意識と敬語行動にみるポライトネスの地域差・世代差」, 『社会言語科学』, Vol.7 No.1, pp.92-104, 社会言語科学会, 2004年9月
- 「2002・2003年における日本語学界の展望-社会言語・言語生活-」, 『国語学』, Vol.55 No.3, pp.99-107, 日本語学会, 2004年7月
- 「コミュニケーションについて調べてみよう」, 『日本語学』, Vol.23 No.6, pp.52-60, 明治書院, 2004年5月
- 「回答の多様性」, 『日本語学』, Vol.23 No.8, pp.99-109, 明治書院, 2004年6月
- 「お互いに心地よい対話を成り立たせるには」, 『NHK アナウンサーのはなすきくよむ』, pp.118-123, 日本放送出版協会, 2004年4月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 朝日祥之, 吉岡泰夫, 相澤正夫: 「自治体職員の行政コミュニケーションに見られる地域差」, 『日本方言研究会第79回研究発表会発表原稿集』, pp.43-52, 日本方言研究会, 2004年11月
- 吉岡泰夫, 朝日祥之, 相澤正夫: 「自治体首長・職員の行政コミュニケーション意識」, 『日本語学会 2004年度秋

季大会予稿集』, pp.151-158, 日本語学会, 2004年11月

- 相澤正夫, 朝日祥之, 吉岡泰夫: 「行政コミュニケーションにおける外来語・略語・専門用語の問題点」, 『社会言語科学会第15回大会発表論文集』, pp.52-55, 社会言語科学会, 2005年3月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第12回国際シンポジウム 「世界の日本語研究の新たな発展を求めて」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『外来語に関する意識調査II (全国調査)』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員

エ. 見学者への対応等 2件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本語学会大会企画運営委
- 社会言語科学会編集委員
- 査読 国内雑誌 11件

ウ. 教育活動

- お茶の水女子大学大学院人間文化研究科 (博士後期課程) 学位論文審査委員

5 その他

- インタビュー記事掲載, 「特集 気になる最近のヘン? なことば遣い」, 『月刊ベターホーム』551号, 2004年7月
- 出演, 「スター高橋ドッキリ! マル秘報告, 挨拶の使い分け」, KBCラジオ, 2004年8月
- コメント掲載, 「うちの広報紙はひと味違るとばい」, 国立国語研全国調査」, 西日本新聞, 2004年8月
- 講演, 「お互いに心地よい対話を成り立たせるには」, ことばで遊ぶ大人の日本語講座, 江東区古石場文化センター, 2004年9月
- インタビュー記事掲載, かしこい生き方のススメ第17回 「言葉遣いで重要なことは相手に対する配慮があるか, どうか, なのです」, NTTコムウェア COMZIN10月号, 2004年9月
- コメント掲載, 「シグナル発見, 社内敬語は企業の鏡」, 日本経済新聞, 2004年9月
- コメント掲載, 「不知火町, しらぬひ・しらぬい, どっちが本当?」, 熊本日日新聞, 2004年10月
- 出演, 「世の中ガブッと, 敬語で斬る! 今ときコミュニケーション」, テレビ東京, 2004年10月
- 出演, 「NHK アナウンサーのはなすきくよむ, お互いに心地よい対話を成り立たせるには」, NHK ラジオ, 2004年10月

研究開発部門第一領域

山崎誠 (領域長)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーバスの構築
- 日本語の現在(実態調査)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム/日本語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 論理的な日本語表現を支える複合辞形式に関する総合研究(分担者)
- 二国間交流事業 共同研究 日韓並列シソーラスの構築とその応用に関する基礎研究(代表者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『第3回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 2004年10月
- 『第11回国立国語研究所国際シンポジウム報告書「世界の〈外来語〉の諸相 標準化・活性化を目指す言語生活の多様性』』, 2005年3月
- 『現代雑誌の語彙調査—1994年発行70誌—(国立国語研究所報告121)』, 2005年3月
- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』, 問答1件, 2005年3月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「林大先生年譜・著述目録」, 『国語学』, Vol.55 No.4, pp.11-19, 日本語学会, 2004年6月

D 論文集等に掲載された論文

- 「新聞記事データに見る「につれて」「にしたがって」」, 藤田保幸・山崎誠 編『論理的な日本語表現を支える複合辞形式に関する総合研究』, pp.59-65, 2005年3月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 「意味分野と使用頻度からみた同音語—2字漢記の場合—」, 『国際シンポジウム比較語彙研究VII』, pp.139-146, 語彙研究会, 2004年8月
- 山崎誠, 小沼悦: 「現代雑誌における語種と品詞」, 第48回計量国語学会, p.6, 2004年9月
- 「日常語と専門用語との接点/コンピュータ用語の定着過程から」, 『第17回専門用語シンポジウム』, pp.1-8, 情報知識学会専門用語研究部会, 2004年12月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「用字と用語」, 第24回ことばフォーラム 「国立国語研究所の歩み—西が丘時代を中心に—」, 2004年12月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『現代雑誌の語彙調査—1994年発行70誌—(国立国語研究所報告121)』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員

- 研究計画委員会 知的財産権部会長
- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- ネットワーク運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク・ホームページ運用管理部会長
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 一橋大部会員
- 施設整備委員会委員
- 情報公開委員会委員
- 外来語所内委員会委員
- 移転整備実施委員会 ネットワーク基盤移転整備作業班員

5 その他

- 執筆, 「意味の世界の見取り図」, 『文化庁月報』5月号, 2004年5月
- 監修, 『日本語学論説資料 39』, 日本語学論説資料保存会, 2004年12月
- 執筆, 「外来語の取り入れ方」, 『情報通信ジャーナル』, Vol.23 No.3, 2005年3月



田中牧郎 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーバスの構築(太陽コーバス)
- 日本語の現在(意識調査/実態調査)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2)「20世紀初期総合雑誌コーバス」の構築による確立期現代語の高精度な記述(代表者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『第3回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 2004年10月
- 「言語資料としての雑誌『太陽』の考察と『太陽コーバス』の設計」, 『雑誌「太陽」による確立期現代語の研究—「太陽コーバス」研究論文集—(国立国語研究所報告 122)』, 2005年3月
- 「漢語「優秀」の定着と語彙形成—主体を表す語の分析を通して—」, 『雑誌「太陽」による確立期現代語の研究—「太陽コーバス」研究論文集—(国立国語研究所報告 122)』, 2005年3月
- 「漢字の実態と処理の方法」, 『雑誌「太陽」による確立期現代語の研究—「太陽コーバス」研究論文集—(国立国語研究所報告 122)』, 2005年3月
- 『外来語に関する意識調査II(全国調査)』, 2005年3月
- 『太陽コーバス—雑誌「太陽」日本語データベース—(国立国語研究所資料集 15)』, 2005年3月
- 『全文検索システム「ひまわり」』, 2004年12月公開
- 『語種辞書「かたりぐさ」』, 2004年12月公開
- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』, 問答1件, 2005年3月

- 『国語研の窓』, 2件

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「近代語研究資料と研究 雑誌『太陽』, 『日本語学』, Vol.23 No.12, pp.208-220, 明治書院, 2004年9月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』, Vol.23 No.9, pp.80-81, 明治書院, 2004年7月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』, Vol.24 No.1, pp.90-91, 明治書院, 2005年1月

D 論文集等に掲載された論文

- 「雑誌『太陽』創刊年(1895年)における口語文—敬体を中心に—」, 飛田良文 編『国語論究 11 言文一致運動』, pp.78-107, 明治書院, 2004年6月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 山口昌也, 田中牧郎:「多様な構造化テキストに対応した全文検索システム『ひまわり』」, 『日本語学会 2004年度秋季大会予稿集』, pp.165-172, 日本語学会, 2004年11月
- 茂木俊伸, 山口昌也, 丸山岳彦, 田中牧郎:「語種辞書『かたりくさ』の開発と月刊雑誌の語種構成分析」, 『言語処理学会第11回年次大会発表論文集』, pp.341-344, 言語処理学会, 2005年3月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「分かりにくい外来語」, 第22回ことばフォーラム 「現代の外来語」, 2004年8月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第22回ことばフォーラム 「現代の外来語」, 企画・運営
- 第23回ことばフォーラム 「外来語とどう付き合うか」, 企画・運営

I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『雑誌「太陽」による確立期現代語の研究—『太陽コーパス』研究論文集—(国立国語研究所報告 122)』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集
- 『全文検索システム「ひまわり」』, 企画・編集
- 『語種辞書「かたりくさ」』, 企画・編集
- 『外来語に関する意識調査II(全国調査)』, 企画・編集
- 『太陽コーパス—雑誌「太陽」日本語データベース—(国立国語研究所資料集 15)』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集
- 『第3回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 知的財産権部会員
- 普及広報委員会 普及啓発図書企画部会員
- 外来語所内委員会委員

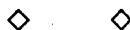
4 所外活動

ウ. 教育活動

- 聖心女子大学文学部非常勤講師

5 その他

- 講演,「日本語の成り立ち」(ことばを遊ぶ～大人のための日本語講座),江東区古石場文化センター,2004年5月
- 執筆,「現代語の確立過程を調べる情報庫」,『文化庁月報』6月号,2004年6月
- 出演,「外来語の言い換え」,新潟放送ラジオかぎとみ徹の熱烈ラジオ SHOW,2004年7月
- 講演,「国立国語研究所が主催した外来語に関する国際シンポジウム/経過と感想」,情報科学技術協会ターミノロジー部会,2004年7月
- 記事,「東京解剖図鑑職 job」,『東京新聞』,2004年7月
- 講演,「外来語を分かりやすくするために」,全国家庭電気製品公正取引協議会,2004年12月
- 執筆,なるほど言葉の万人向け設計第3回「外来語はどれくらい理解されているか」,『情報通信ジャーナル』Vol.23 No.1,2005年1月
- 執筆,なるほど言葉の万人向け設計第4回「外来語を分かりやすくするために」,『情報通信ジャーナル』Vol.23 No.2,2005年2月
- 講演,「外来語の現状と対応-分かりにくい外来語を分かりやすくするために-」,杉並区ことばのフォーラム,2005年2月



笹原宏之 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーバスの構築(現代雑誌200万字言語調査/太陽コーバス)
- 日本語の現在(実態調査)
- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成(インターネットによる海外提供システム)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 電子政府6万字種データベースに準拠した海外日本語研究者向けWeb漢字辞書の作成(分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 20世紀初期総合雑誌コーバスの構築による確立期現代語の高精度な記述(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『現代雑誌の語彙調査-1994年発行70誌-(国立国語研究所報告121)』,2005年3月
- 「漢字文字列における同化と衝突」,『雑誌「太陽」による確立期現代語の研究-「太陽コーバス」研究論文集-(国立国語研究所報告122)』,2005年3月
- 『太陽コーバス-雑誌「太陽」日本語データベース-(国立国語研究所資料集15)』,2005年3月
- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』,問答1件,2005年3月
- 『国語研の窓』,1件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 『汎用電子情報交換環境整備プログラム 事業報告書』,2005年3月

C 学術雑誌、商業雑誌等に掲載された論文

- 「固有名詞の字体、漢字・仮名の表記」、『月刊言語』, pp.40-43, 大修館書店, 2004年11月

D 論文集等に掲載された論文

- 「手紙と日記における文字・表記の特徴」, 中村明, 野村雅昭, 佐久間まゆみ, 小宮千鶴子 編『表現と文体 ― 日本語の姿を探る』, pp.77-86, 明治書院, 2005年3月
- 「固有名詞の漢字に起こる変化と創作」, 『時報 市町村教委』No.194, pp.14-17, 全国市町村教育委員会連合会, 2005年1月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 横山詔一, 笹原宏之, 黒田信二郎, 澤田照一郎, 野島伸一, 石岡俊明: 「漢字ユビキタスを支える文字情報集積体の開発」, 『人文科学とコンピュータ 研究報告 No.64 情報処理学会研究報告』, Vol.2004 No.110, pp.47-54, 情報処理学会, 2004年11月
- 「若年層による携帯メールにおける特徴的な表現」, 『日本文体論学会 第85回研究発表要旨』, p.5, 2004年6月
- 「要望から見た人名用漢字」, 京都大学 21世紀 COE 「東アジア世界の人文情報学研究教育拠点」・京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター・京都大学学術情報メディアセンター 編『東洋学へのコンピュータ利用 第16回研究セミナー(全国文献・情報センター人文社会科学学術情報セミナーシリーズ・京都大学学術情報メディアセンター第77回研究セミナー)』, pp.51-90, 京都大学 21世紀 COE 「東アジア世界の人文情報学研究教育拠点」, 2005年3月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「人名と漢字」, 京都大学 21世紀 COE プログラム 東アジア世界の人文情報学研究教育拠点「漢字文化の全き継承と発展」, 2005年2月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 国立国語研究所 庁舎移転記念 パネル展示・解説

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 平成16年度標準開発調査委員会(JIS漢字統合検討会) 委員
- 法務省法制審議会人名用漢字部会 幹事
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム 文字対応作業部会 委員
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム 文字情報作業部会 委員

ウ. 教育活動

- 早稲田大学文学部非常勤講師

5 その他

- 執筆, 「京都の地名」, 『ペン字』春号, 2004年4月
- 執筆, 「韓国の首都ソウルの表記」, 『日本医事新報』4175号, 2004年5月
- 執筆, 「字源の俗解」, 『ペン字』夏号, 2004年7月
- 講演, 「イマドキ漢字考」, 目黒区シルバー大学会, 2004年9月
- 執筆, 書評空間「大修館 四字熟語辞典」, 『月刊言語』, 2004年9月
- 執筆, 「古い字と新しい字」, 『ペン字』秋号, 2004年10月

- 執筆, 「「腺」が定着するまで」, 『ペン字』冬号, 2005年1月
- 学位請求論文, 『国字の位相と展開』, 2005年1月
- 出演, 「斉藤一美のS/N/A/P」, 文化放送, 2005年2月
- 執筆, 「中国・韓国の人名の読み方」, 『日本医事新報』4222号, 2005年3月



柏野和佳子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築(現代雑誌200万字言語調査)
- 日本語の現在(実態調査)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『国語研の窓』, 1件

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 柏野和佳子, 丸山岳彦, 稲益佐知子, 茂木俊伸: 「語の出現分布からみた月刊雑誌と新聞コーパスの特性調査—用例収集資料としての多様性の検討—」, 『言語処理学会第11回年次大会発表論文集』, pp.380-383, 言語処理学会, 2005年3月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成16年度 国立国語研究所公開研究発表会「これからの日本語学習支援を考える—学びを支えるモノ・ヒト・コト—」, 企画・運営

I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『全文検索システム「ひまわり」』, 協力

U. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 公開研究発表会部会員

4 所外活動

A. 所外委員会

- 情報処理学会学会標準制度化検討委員会/WG3〔解析・生成用日本語電子化辞書形式〕
- ISO/TC37(用語及び他の言語資源における原則と調整)国内対策委員会

I. 学会活動

- 言語処理学会編集委員
- 査読 国内雑誌 2件

5 その他

- 公開,「情報処理学会 試行標準 IPSJ-TS 0003:2004 解析用日本語電子化辞書の記述項目と記述形式」, 2004 年 10 月



小椋秀樹 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築(太陽コーパス)
- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(話し言葉コーパス)
- 日本語の現在(実態調査)
- 科学研究費補助金 若手研究(B)(2) 漢語研究資料としての明治前期語い集型往来の資料的性格の分析と語い索引の作成(代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)「20世紀初期総合雑誌コーパス」の構築による確立期現代語の高精度な記述(分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 話し言葉コーパスに基づく言語変異現象の定量的分析(分担者)

2 成果公表活動

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 小椋秀樹, 山口昌也, 西川賢哉, 石塚京子, 木村睦子:『『日本語話し言葉』コーパスにおける単位認定基準について』, 『日本語科学』16, pp.93-113, 2004年10月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「書き言葉のきまりとは」, 第21回ことばフォーラム 「こんにちは“コッケン”です。—みなさんの質問から—」, 2004年7月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』15, 企画・編集
- 『日本語科学』16, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員

4 所外活動

ウ. 教育活動

- 聖心女子大学文学部非常勤講師

5 その他

- 文化庁文化部国語課専門職(併任)
- 講演,「漢字表」ってなんだろう, 第88期北区区民大学「ことばの十字路」, 北とびあ, 2004年7月

- 講演,「手紙の書き方講習会」,杉並区「ことばのフォーラム」,杉並区職員能力開発センター,2005年3月



山口昌也 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーバスの構築(太陽コーバス)
- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(話し言葉コーバス)
- 日本語の現在(実態調査)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2)「20世紀初期総合雑誌コーバス」の構築による確立期現代語の高精度な記述(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『全文検索システム「ひまわり」』,2004年12月公開
- 『語種辞書「かたりぐさ」』,2004年12月公開
- 「全文検索システム『ひまわり』,『雑誌「太陽」による確立期現代語の研究-「太陽コーバス」研究論文集- (国立国語研究所報告 122)』,2005年3月
- 『太陽コーバス-雑誌「太陽」日本語データベース- (国立国語研究所資料集 15)』,2005年3月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 山口昌也,田中牧郎:「多様な構造化テキストに対応した全文検索システム「ひまわり」」,『国語学会 2004年度秋季大会要旨集』,pp.165-172,2004年11月
- 山口昌也,小島丈幸:「複数の作業者を考慮した形態素データベース修正ツール」,『言語処理学会第11回年次大会予稿集』,pp.253-256,2005年3月
- 茂木俊伸,山口昌也,丸山岳彦,田中牧郎:「語種辞書『かたりぐさ』の開発と月刊雑誌の語種構成分析」,『言語処理学会第11回年次大会予稿集』,pp.341-344,2005年3月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『雑誌「太陽」による確立期現代語の研究-『太陽コーバス』研究論文集- (国立国語研究所報告 122)』,企画・編集
- 『全文検索システム「ひまわり」』,企画・編集
- 『語種辞書「かたりぐさ」』,企画・編集
- 『太陽コーバス-雑誌「太陽」日本語データベース- (国立国語研究所資料集 15)』,企画・編集
- 『第3回「外来語」言い換え提案-分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫-』,企画・編集
- 『平成16年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究台湾アンケート調査集計結果報告書』,刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会,研究支援等

- ネットワーク運営委員会委員

- ネットワーク運営委員会 ネットワーク・ホームページ運用管理部会員
- 移転整備実施委員会 ネットワーク基盤移転整備作業班員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 電子情報通信学会言語理解とコミュニケーション研究会専門委員
- 査読 国内論文集 1件



丸山岳彦 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(話し言葉コーパス)
- 日本語の現在(実態調査)
- 科学研究費補助金 萌芽研究 コーパスに基づく話し言葉文体論の構築(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, コラム 1件, 2005年3月
- 『国語研の窓』, 1件

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 丸山岳彦・柏岡秀紀・熊野正・田中英輝:「日本語節境界検出プログラム CBAP の開発と評価」, 『自然言語処理』, Vol.11 No.3, pp.39-68, 言語処理学会, 2004年7月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 大野誠寛, 松原茂樹, 丸山岳彦, 柏岡秀紀, 田中英輝, 稲垣康善:「節境界に基づく独話文係り受け解析の効率化」, 『情報処理学会研究報告(NL-162)』, pp.213-220, 情報処理学会, 2004年7月
- Hideki Kashioka and Takehiko Maruyama: "Segmentation of Semantic Units in Japanese Monologues," *International Conference on Speech and Language Technology & Oriental-COCOSDA-2004*, 2004年11月
- 「話しことばに現れる文末表現の分類と文体的指標」, 『言語処理学会第11回年次大会発表論文集』, pp.751-754, 言語処理学会, 2005年3月
- 茂木俊伸, 山口昌也, 丸山岳彦, 田中牧郎:「語種辞書『かたりぐさ』の開発と月刊雑誌の語種構成分析」, 『言語処理学会第11回年次大会発表論文集』, pp.341-344, 言語処理学会, 2005年3月
- 柏野和佳子, 丸山岳彦, 稲益佐知子, 茂木俊伸:「語の出現分布からみた月刊雑誌と新聞コーパスの特性調査 - 用例収集資料としての多様性の検討 -」, 『言語処理学会 第11回年次大会 発表論文集』, pp.380-383, 2005年3月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第22回ことばフォーラム 「現代の外来語」, 企画・運営
- 第24回ことばフォーラム 「国立国語研究所の歩み - 西が丘時代を中心に -」, 企画・運営

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 言語処理学会第 11 回年次大会座長, 発表賞選考委員



小沼悦 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築 (現代雑誌 200 万字言語調査)
- 日本語の現在 (実態調査)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『現代雑誌の語彙調査—1994 年発行 70 誌— (国立国語研究所報告 121)』, 2005 年 3 月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 山崎誠, 小沼悦: 「現代雑誌における語種と品詞」, 計量国語学会第 48 回大会, p.6, 2004 年 9 月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, 企画・編集
- 『現代雑誌の語彙調査—1994 年発行 70 誌— (国立国語研究所報告 121)』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会員



茂木俊伸 (特別奨励研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の現在 (実態調査)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『語種辞書「かたりぐさ」』, 2004年12月公開
- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』, コラム1件, 2005年3月

D 論文集等に掲載された論文

- 「「以外(に)」の用法と意味」, 『日本語複合助詞の研究(平成16年度筑波大学人文社会科学研究所プロジェクト「日本語複合助詞の体系化に向けた記述的研究」研究成果報告書)』, pp.15-33, 筑波大学大学院人文社会科学研究所文芸・言語専攻, 2005年3月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 柏野和佳子, 丸山岳彦, 稲益佐知子, 茂木俊伸: 「語の出現分布からみた月刊雑誌と新聞コーパスの特性調査ー用例収集資料としての多様性の検討ー」, 『言語処理学会第11回年次大会発表論文集』, pp.380-383, 言語処理学会, 2005年3月
- 茂木俊伸, 山口昌也, 丸山岳彦, 田中牧郎: 「語種辞書『かたりぐさ』の開発と月刊雑誌の語種構成分析」, 『言語処理学会第11回年次大会発表論文集』, pp.341-344, 言語処理学会, 2005年3月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「「以外(に)」の用法についてー「累加」と「限定」の接点ー」, 第2回現代日本語文法研究会, 2004年12月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『語種辞書「かたりぐさ」』, 企画・編集

4 所外活動

イ. 学会活動

- 査読 国内雑誌 1件

5 その他

- 招待講演, “Some problems in semantics of the focus particles in Japanese,” リュブリャナ大学文学部アジア・アフリカ研究学科, 2005年2月
- 招待講演, 現代日本語の「語種」についてー和語・漢語・外来語ー, リュブリャナ大学文学部アジア・アフリカ研究学科, 2005年3月

研究開発部門第二領域

前川喜久雄 (領域長)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索
- 大学院教育(日本語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 話し言葉コーパスに基づく言語変異現象の定量的分析(代表者)
- 科学研究費補助金 萌芽研究 コーパスに基づく話し言葉文体論の構築(代表者)

2 成果公表活動

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 『『日本語話し言葉コーパス』の概要』, 『日本語科学』15, pp.111-133, 2004年4月
- 「脳科学への期待」, 『音声研究』, Vol.8 No.3, pp.35-40, 日本音声学会, 2004年12月

D 論文集等に掲載された論文

- 『『日本語話し言葉コーパス』の概観』, 『『日本語話し言葉コーパス』添付電子文書』, 国立国語研究所, 情報通信研究機構, 2004年4月
- 前川喜久雄, 菊池英明, 藤本雅子, 米山聖子: 『『日本語話し言葉コーパス』の分節音ラベリング』, 『『日本語話し言葉コーパス』添付電子文書』, 国立国語研究所, 情報通信研究機構, 2004年4月
- 前川喜久雄, 五十嵐洋介, 菊池英明, 米山聖子: 『『日本語話し言葉コーパス』のイントネーションラベリング』, 『『日本語話し言葉コーパス』添付電子文書』, 国立国語研究所, 情報通信研究機構, 2004年4月
- 小磯花絵, 間淵洋子, 西川賢哉, 斉藤美紀, 前川喜久雄: 「転記テキストの仕様」, 『『日本語話し言葉コーパス』添付電子文書』, 国立国語研究所, 情報通信研究機構, 2004年4月
- 「バラ言語情報の作成と知覚」『特定領域研究 韻律に着目した音声情報処理の高度化(研究成果報告書)』, pp.111-118, 東京大学大学院情報理工学系研究科, 2005年3月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- “Toward a pronunciation dictionary of Japanese: Analysis of CSJ,” *Proceedings of the Symposium on Large-Scale Knowledge Resources (LKR2005)*, Vol.1, pp.43-48, Tokyo Institute of Technology, 21st Century COE Program, 2005年3月
- 小磯花絵, 間淵洋子, 前川喜久雄: 「助詞の撥音化現象: 『日本語話し言葉コーパス』を用いた音声転訛現象の分析」, 『人工知能学会研究会資料 SIG-SLUD-A403-02』, pp.7-12, 人工知能学会, 2005年2月
- 間淵洋子, 西川賢哉, 土屋菜穂子, 相馬さつき, 籠宮隆之, 小磯花絵, 前川喜久雄: 「『日本語話し言葉コーパス』書き起こしの為の用字用語辞書の作成」, 『言語処理学会第11回年次大会予稿集』, pp.733-736, 言語処理学会, 2005年3月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』15, 協力
- 『日本語科学』16, 協力

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員

- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会委員 英文概要部会長
- 図書館運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 一橋大部会員
- 施設整備委員会委員
- 移転整備実施委員会 移転整備作業班員
- 次期中期計画小委員会委員

エ. 見学者への対応等 15件

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 言語聴覚士試験委員

イ. 学会活動

- 日本音声学会評議員
- 日本音響学会査読委員
- 日本語学会査読委員

ウ. 教育活動

- 東京工業大学大学院特任教授 (COE21-LKR 担当)

5 その他

- 講演, 「大規模音声データベース『日本語話し言葉コーパス』の概要とその利用法」, 日本音声学会第11回音声学セミナー, 国立国語研究所, 2004年7月
- 講演, 「『日本語話し言葉コーパス』の概要と応用」, 日本語教育学会総会, 国立国語研究所, 2005年3月



熊谷智子 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (学校敬語・敬意表現調査報告)
- 大学院教育 (日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (2) 日韓新時代における若者の国際コミュニケーションのあり方と意識に関する研究 (分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 熊谷智子, 篠崎晃一: 「依頼場面での働きかけ方における世代差・地域差」, 『日本語社会における配慮の言語行動』, pp.21-60, 2005年3月

- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, 解説 1 件, 2005 年 3 月
- 熊谷智子, 石井恵理子: 「会話における話題選択の日韓比較」, 尾崎喜光 編 『日韓新時代における若者の国際コミュニケーションのあり方と意識に関する研究 第 I 部 論文編』, pp.135-170, 2005 年 3 月
- 『国語研の窓』, 1 件

B 所員が執筆・編集した単行本

- “The Role of Repetition in Complaint Conversations,” Polly Szatrowski (ed.) *Hidden and Open Conflict in Japanese Conversational Interaction*, pp.199-220, Kurosio Publishers, 2004 年 5 月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, 企画・編集
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第 8 巻 長野・山梨・静岡 (国立国語研究所資料集 13-8)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第 9 巻 岐阜・愛知・三重 (国立国語研究所資料集 13-9)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第 10 巻 富山・石川・福井 (国立国語研究所資料集 13-10)』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会委員 英文概要部会員
- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会長
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 政研大修士課程部会員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 社会言語科学会学会誌編集委員
- 日本語教育学会学会誌委員
- 査読 国内雑誌 34 件
- 北京日本学研究センター 修士論文審査 2 本

ウ. 教育活動

- 日本語教育学会研修 研究論文コース講義 (2004 年 6 月)



尾崎喜光 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (学校敬語・敬意表現調査報告)
- 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (2) 日韓新時代における若者の国際コミュニケーションのあり方と意識に関する研究 (代表者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 杉戸清樹・尾崎喜光・塚田実知代:「第1章 研究目的と調査概要」,『日本語社会における配慮の言語行動』,pp.1-12, 2005年3月
- 「第5章 断り場面における各種表現の出現傾向」,『日本語社会における配慮の言語行動』, pp.85-106, 2005年3月
- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 4 暮らしの中の「あいまいな表現」』, 2005年3月
- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』, 問答1件, 2005年3月
- 「第1章 研究と調査の概要」, 尾崎喜光 編『日韓新時代における若者の国際コミュニケーションのあり方と意識に関する研究 第I部 論文編』, pp.1-17, 2005年3月
- 「第6章 依頼行動と感謝行動の日韓比較」, 尾崎喜光 編『日韓新時代における若者の国際コミュニケーションのあり方と意識に関する研究 第I部 論文編』, pp.87-134, 2005年3月
- 『国語研の窓』, 1件

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「日本語の男女差の現状と評価意識」, 『日本語学』, Vol.23 No.7, pp.48-55, 明治書院, 2004年6月
- 「<ズバリお答え! 日本語 Q&A> 「よろしかったでしょうか」は正しいの?」, 『月刊日本語』, Vol.17 No.12, pp.32-33, アルク, 2004年12月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「お言葉?」, 第21回ことばフォーラム 「こんにちは“コッケン”です。—みなさんの質問から—」, 2004年7月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第21回ことばフォーラム 「こんにちは“コッケン”です。—みなさんの質問から—」, 企画・運営

I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 4 暮らしの中の「あいまいな表現」』, 企画・編集
- 『日本語社会における配慮の言語行動』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会員

4 所外活動

ウ. 教育活動

- 文教大学文学部非常勤講師

5 その他

- 講演, 「<北区(東京都)区民大学「ことばの十字路口」>第2回 年齢とことば」, 北とびあ, 2004年6月
- インタビュー記事掲載, 「連載<日本語の現場> 職場で・42 区長は「殿」が似合う?」, 読売新聞, 2004年6月
- インタビュー記事掲載, 「<サザエさんをさがして> 敬語」, 朝日新聞, 2004年7月
- インタビュー記事掲載, 「<お元気ですか日本列島 気になることば> これって敬語っすか?」, NHK 総合テレビ, 2004年8月
- インタビュー記事掲載, 「<生活探偵> 自分のこと「うち」 関東でなぜ?」, 読売新聞, 2004年8月

- インタビュー記事掲載, 『様(さま)~ず』な男たちヒストリー, 女性セブン, 2004年8月
- 出演, 「<ものしり一夜づけ> 徹底解剖イケてる50代 言語学」, NHK総合テレビ, 2004年9月
- 講演, 「<平成16年度神奈川県統計調査員研修会(定期研修)> 面接調査技法」, かながわ県民センター, 2004年9月
- 講演, 「<目黒区文化講座「ことばを楽しむ」> 女ことば・男ことば」, 緑が丘コミュニティセンター, 2004年10月
- 執筆, 「<書評> “誤用”めぐる柔軟な発想『問題な日本語』(北原保雄編)」, 共同通信社配信, 2005年1-2月



大西拓一郎 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(方言文法全国地図)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(1) 方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究(代表者)
- 科学研究費補助金 萌芽研究 地理情報システム言語地図の開発(代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 日本語諸方言の条件表現に関する対照研究(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』, 問答1件, 2005年3月
- 『国語研の窓』, 1件

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「地理情報システム(GIS)を利用した日本語研究」, 『日本語学』, Vol.23 No.15, pp.18-23, 明治書院, 2004年12月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「『方言の旅』を巡って」, 第20回ことばフォーラム 「「ことばビデオ」方言の旅ー庄内方言の集いー」, 2004年5月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第20回ことばフォーラム 「「ことばビデオ」方言の旅ー庄内方言の集いー」, 企画・運営

I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『国語研の窓』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 国語研の窓部会員

E. 見学者への対応等 2件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本語学会編集委員

ウ. 教育活動

- 東京女子大学非常勤講師

5 その他

- インタビュー記事, 「現代プライバシー考」, 『アイ』(全国信用情報センター連合会), 2004年11月
- 出演, 「食器を水に浸す意味を表す「ウルカス」は方言か」, ニッポン放送, 2004年12月



三井はるみ (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(方言文法全国地図)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究(分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 「談話資料」による方言コードの変容に関する研究(分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 日本語諸方言の条件表現に関する対照研究(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』, 問答1件, 2005年3月
- 井上文子, 真田信治, 三井はるみ, 金美貞 編: 『接客談話資料集(科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書)』, pp.1-157, 2005年2月

B 所員が執筆・編集した単行本

- 亀田裕見, 川嶋秀之, 佐藤高司, 篠崎晃一, 田中ゆかり, 三井はるみ: 井上史雄, 吉岡泰夫 編 『関東の方言ー調べてみよう暮らしのことばー』, ゆまに書房, 2004年4月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「新刊寸感」, 『日本語学』, Vol.23 No.6, pp.94-95, 明治書院, 2004年5月
- 「現代社会方言の地域分布」, 『月刊言語』, Vol.33 No.9, pp.32-38, 大修館書店, 2004年9月
- 「新刊寸感」, 『日本語学』, Vol.23 No.14, pp.100-101, 明治書院, 2004年11月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「話し言葉ー方言研究を中心にー」, 第24回ことばフォーラム「国立国語研究所の歩みー西が丘時代を中心にー」, 2004年12月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第 8 巻 長野・山梨・静岡 (国立国語研究所資料集 13-8)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第 9 巻 岐阜・愛知・三重 (国立国語研究所資料集 13-9)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第 10 巻 富山・石川・福井 (国立国語研究所資料集 13-10)』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育ブックレット 7 話しことば教育における学習項目』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育ブックレット 8 作文教育における日本語教師と大学専門教員との協力のために』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 普及広報委員会 概要部会員
- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会員
- セクシャル・ハラスメント防止委員会委員
- 移転整備実施委員会 図書館移転・公開作業班員

エ. 見学者への対応等 1件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本方言研究会事務局員
- 日本音声学会企画委員
- 査読 国内雑誌 2件

ウ. 教育活動

- 共立女子大学文芸学部非常勤講師
- 千葉大学教育学部非常勤講師

5 その他

- 監修, 『音声付き CD-ROM スーパー大辞林』アクセント, 三省堂, 2004 年 5 月
- 執筆, 「方言によるアクセントの違い」, 『日本医事新報』, No.4183, 日本医事新報社, 2004 年 6 月
- 講演, 「方言と標準語」, 江東区古石場文化センター講座「ことばを遊ぶー大人のための日本語講座ー」, 古石場文化センター, 2004 年 7 月
- 講演, 「言語意識」, 朝日カルチャーセンター講座「言語と社会」, 2004 年 9 月
- 監修, 『日本語学論説資料』39, 日本語学論説資料保存会, 2004 年 12 月

當眞千賀子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(学校敬語・敬意表現調査報告)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 4 暮らしの中の「あいまいな表現」』, 2005年3月

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「談話と文化的学びのかかわりを見つける」, 岩波書店編集部 編『フィールドワークは楽しい』, pp.177-193, 2004年6月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「学校, なぞなぞ, 親子のやり取りの共通点は?」, 『NHK アナウンサーのはなすきくよむ』, pp.166-171, 日本放送協会, 2004年4月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 4 暮らしの中の「あいまいな表現」』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会員



小磯花絵 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(話し言葉コーパス)
- 科学研究費補助金 若手研究 (B) (2) 自発音声コーパスを用いた音声転訛現象の言語内的・外的要因の分析(代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 話し言葉コーパスに基づく言語変異現象の定量的分析(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, 問答1件, 2005年3月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「ポーズ・イントネーションを調べる—話題の組み立てに着目して」, 『NHK アナウンサーのはなすきくよむ』, pp.84-89, 日本放送出版協会, 2004年4月
- 「ながら相づち」, 『月刊言語』, Vol.33 No.11, pp.100-101, 大修館書店, 2004年10月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 小磯花絵, 間淵洋子, 前川喜久雄: 「助詞の撥音化現象: 『日本語話し言葉コーパス』を用いた音声転訛現象の分析」, 『人工知能学会研究会資料』, SIG-SLUD-A403-02, pp.7-12, 2005年3月
- 榎本美香, 石崎雅人, 小磯花絵, 伝康晴, 水上悦雄, 矢野博之: 「相互行為分析のための単位に関する検討」, 『人工知能学会研究会資料』, SIG-SLUD-A402, pp.45-50, 2004年11月
- 水上悦雄, 石崎雅人, 榎本美香, 小磯花絵, 伝康晴, 矢野博之: 「相互行為分析のための単位に関する検討(2)ーターン構成単位とやり取り構成単位の分析ー」, 『言語処理学会第11回年次大会予稿集』, pp.1233-1236, 2005年3月
- 間淵洋子, 西川賢哉, 土屋菜穂子, 相馬さつき, 籠宮隆之, 小磯花絵, 前川喜久雄: 「『日本語話し言葉コーパス』書き起こしの為の用字用語辞書の作成」, 『言語処理学会第11回年次大会予稿集』, pp.733-736, 2005年3月
- 籠宮隆之, 間淵洋子, 土屋菜穂子, 西川賢哉, 小磯花絵: 「書き起こし作業用用字用語辞書の仮名漢字変換システムへの実装と計算機環境の整備」, 『言語処理学会第11回年次大会予稿集』, pp.297-300, 2005年3月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「日本語話し言葉コーパスの設計とタグ付け」, 日本語話し言葉コーパスワークショップ, 2005年2月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』15, 企画・編集
- 『日本語科学』16, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク基盤整備部会員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 社会言語科学会事業委員会
- 社会言語科学会企画委員会
- 査読 国内雑誌 3件

5 その他

- 出演, 「NHKアナウンサーのはなすきくよむ」, NHKラジオ第2放送, 2004年8月

日本語教育部門

杉戸清樹 (部門長)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (学校敬語・敬意表現調査報告)
- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究
- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語の現在 (意識調査)
- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成
- 日本語教育研修
- 大学院教育 (日本言語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 外国人被災者のための「やさしい日本語」を用いた災害時の情報伝達についての研究 (分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「閉会あいさつ」, 『第 11 回国立国語研究所国際シンポジウム報告書「世界の〈外来語〉の諸相 標準化・活性化を目指す言語生活の多様性」』, pp.369-376, 2005 年 3 月
- 杉戸清樹・尾崎喜光・塚田実知代: 「第 1 章 研究目的と調査概要」, 『日本語社会における配慮の言語行動』, pp.1-12, 2005 年 3 月
- 「第 2 章 配慮の言語行動をどうとらえるか」, 『日本語社会における配慮の言語行動』, pp.13-20, 2005 年 3 月
- 『国語研の窓』, 1 件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「日本人の言語行動—気配りの構造」, 中村明, 野村雅昭, 佐久間まゆみ, 小宮千鶴子 編 『表現と文体』, pp.362-371, 明治書院, 2005 年 3 月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「通信手段からみた言語行動」, 月刊『言語』Vol.33 No.11, pp.112-113, 大修館書店, 2004 年 11 月
- 「言語行動についての規範意識」, 『日本語学研究』Vol.12, pp.1-6, 韓国日本語学会, 2005 年 3 月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 「国立国語研究所における日本語教育に関する研究・事業の歴史—なぜ言語学習リソースを探るのか?—」, 『平成 16 年度国立国語研究所公開研究発表会「これからの日本語学習支援を考える—学びを支えるモノ・ヒト・コト—」』, pp.1-8, 国立国語研究所, 2004 年 10 月
- 「言語行動についての規範意識」(招請講演), 『韓国日本語学会第 10 回大会論文集』, pp.1-7, 韓国日本語学会, 2004 年 9 月
- 「ワークショップ7「日本語教育のための社会言語学」2. 日本人は何を気にして話しているのか?—談話とメタ言語—」, 『2004 年日本語教育国際研究大会』, 本冊, p.65, 日本語教育学会, 国際交流基金, 国立国語研究所編, 2004 年 8 月
- 「敬意表現行動の規範意識をめぐって」(第 1 回待遇コミュニケーション研究会講演), 『待遇コミュニケーション』

研究』, Vol.2, pp.66-86, 早稲田大学待遇コミュニケーション研究会, 2004年10月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「それぞれの分野から「言語生活」, 第24回ことばフォーラム「国立国語研究所の歩み—西が丘時代を中心に—」, 2004年12月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成16年度 国立国語研究所公開研究発表会「これからの日本語学習支援を考える—学びを支えるモノ・ヒト・コト—」, 企画・運営
- 第12回国際シンポジウム「世界の日本語研究の新たな発展を求めて」, 企画・運営
- 第24回ことばフォーラム「国立国語研究所の歩み—西が丘時代を中心に—」, 企画・運営

I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育論集』21, 企画・編集
- 『海外言語政策関係参考資料3「韓国『漢字教育と漢字政策についての国際学術会議 予稿集』』, 協力
- 『日本語教育年鑑2004年版』, 企画・編集
- 『第11回国立国語研究所国際シンポジウム報告書「世界の〈外来語〉の諸相 標準化・活性化を目指す言語生活の多様性」』, 企画・編集
- 『日本語教育ブックレット7 話しことば教育における学習項目』, 刊行物検討委員会委員長
- 『日本語教育ブックレット8 作文教育における日本語教師と大学専門教員との協力のために』, 刊行物検討委員会委員長
- 『平成16年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 台湾アンケート調査集計結果報告書』, 刊行物検討委員会委員長

U. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 研究企画調整部会長
- 国際交流委員会委員
- 国際交流委員会 研究交流企画部会長
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 企画調整部会員
- 普及広報委員会 普及啓発図書企画部会長
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 企画部会員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 政研大企画調整部会長
- 大学院運営委員会 政研大博士課程部会長
- 施設整備委員会委員
- 情報公開委員会委員
- 外来語所内委員会委員
- 移転整備実施委員会委員
- 次期中期計画小委員会委員長

4 所外活動

ア. 所外委員会

- アジア福祉教育財団難民事業本部 定住難民日本語学習援助委員会 委員
- 国際日本語普及協会 日本語ボランティア活動支援・推進事業委員会 委員
- 大学評価・学位授与機構 大学評価委員会 分野別研究評価 評価員
- 日本国際教育協会 日本語教育能力検定試験実施委員会 委員
- 日本放送協会 放送用語委員会 委員
- 日本弁護士連合会 裁判員制度実施本部 外部学識委員

イ. 学会活動

- 日本語学会 評議員
- 日本言語学会 委員
- 日本語教育学会 常任理事 副会長
- 日本語教育学会 財政検討委員会 委員長
- 日本方言研究会 世話人
- 査読 国内雑誌 4件

5 その他

- 明治書院 月刊誌『日本語学』 編集委員
- 監修, 『日本語学論説資料 39』, 日本語学論説資料保存会, 2004年12月

日本語教育部門第一領域

井上優 (領域長)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究
- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育研修(短期研修)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム/日本語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(1) 対照研究の成果を生かした中国語母語話者向け日本語文法教材の開発(代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 東アジア諸語のカテゴリ化と文化化に関する対照研究—多様性から普遍性へ—(分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(1) 方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, 問答 1 件, 2005 年 3 月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「方言の終助詞が伝えるもの—富山県砺波方言の「ネー」の場合」, 『日本語学』, Vol.23 No.10, pp.12-20, 明治書院, 2004 年 8 月
- 「日本語運用能力再点検(概数表現)」, 『言語』, Vol.33 No.11, pp.62-63, 大修館書店, 2004 年 9 月
- 「日本語運用能力再点検(終助詞)」, 『言語』, Vol.33 No.11, pp.90-91, 大修館書店, 2004 年 9 月
- 「日本語運用能力再点検(「した」と「している」)」, 『言語』, Vol.33 No.11, pp.128-129, 大修館書店, 2004 年 9 月
- 「日本語学会 2004 年度春季大会国際シンポジウム報告「世界の日本語研究の新たな発展を求めて」」, 『国語学』, Vol.55 No.4, pp.142-149, 日本語学会, 2004 年 10 月

D 論文集等に掲載された論文

- 「「主題」の言語対照と日本語の「は」」, 益岡隆志 編『シリーズ言語対照 5 主題の対照』, pp.215-226, くろしお出版, 2004 年 11 月
- 黄麗華, 井上優: 「対照研究と日本語教育」, 松岡弘, 五味政信 編『開かれた日本語教育の扉』, pp.122-126, スリーエーネットワーク, 2005 年 2 月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 「受動文の比較対照—日本語と中国語の場合—」, 韓国日本学会 編『韓国日本学会第 70 回学術大会 Proceedings』, pp.340-345, 韓国日本学会, 2005 年 2 月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「対照研究を生かした日本語教育文法」, 日本語教育短期研修第 1 回 「日本語教育のための文法を考える」, 2004 年 7 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第12回国際シンポジウム「世界の日本語研究の新たな発展を求めて」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第1回「日本語教育のための文法を考える」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第2回「言語テストと日本語教育」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第3回「話しことば教育における学習項目」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第4回「教室活動における『協働』を考える」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第5回「作文添削の電子化・共有と、それをういた応用研究の可能性」, 企画・運営
- ITを活用した日本語教育指導能力向上研修「コンピュータと新日本語教育2004」, 協力

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』15, 企画・編集
- 『日本語科学』16, 企画・編集
- 『日本語教育論集』21, 協力
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第8巻 長野・山梨・静岡 (国立国語研究所資料集13-8)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第9巻 岐阜・愛知・三重 (国立国語研究所資料集13-9)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第10巻 富山・石川・福井 (国立国語研究所資料集13-10)』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育ブックレット 7 話しことば教育における学習項目』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集
- 『日本語教育ブックレット 8 作文教育における日本語教師と大学専門教員との協力のために』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集
- 『平成16年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究台湾アンケート調査集計結果報告書』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部部长
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会委員 英文概要部会員
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 一橋大部部长
- 施設整備委員会委員
- 情報公開委員会委員
- 次期中期計画小委員会委員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本語学会評議員
- 日本言語学会大会委員
- 日本語教育学会学会誌委員
- 日本語文法学会評議員・大会委員
- 査読 国内雑誌 40件

ウ. 教育活動

- 神田外語大学非常勤講師
- 大阪大学非常勤講師（集中講義）
- 山形大学非常勤講師（集中講義）
- 日本言語学会夏期講座講師（対照言語学）
- 国際交流基金日本語国際センター中国大学日本語教師研修講師

5 その他

- 講演, 「「ことば」ってなんだろう」, 北区区民大学, 2004年5月
- 講演, 「ことばを比べてわかることー標準語と方言, 日本語と外国語ー」, とやま・ことばのフォーラム, 富山県民会館, 2005年2月
- 執筆, 新刊・寸感（『現代日本語文法4 第8部モダリティ』『日本語のとりたてー現代語と歴史的变化・地理的変異』『水海道方言における格と文法関係』, 『日本語学』, Vol.23 No.9, pp.106-107, 明治書院, 2004年6月
- 執筆, 書評空間（『現代中国語総説』, 『言語』, Vol.33 No.9, p.119, 大修館書店, 2004年8月
- 執筆, 新刊・寸感（『現代中国語総説』『韓国語概説』『シリーズ言語対照5 主題の対照』）, 『日本語学』, Vol.23 No.15, pp.80-82, 明治書院, 2004年12月



宇佐美洋（主任研究員）

1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究（アジア版対訳コーパス／欧米版対訳コーパス）
- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究（各種研修の実情情報の蓄積・分析）
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築（日本語教育年鑑）
- 日本語教育研修（長期研修／短期研修）
- 大学院教育（日本語教育指導者養成プログラム／日本語文化研究プログラム）
- 科学研究費補助金 基盤研究（B）（2）日本語学習者による日本語発話と、母語発話との対照データベースー開発・応用のための研究（代表者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『日本語教育ブックレット 8 作文教育における日本語教師と大学専門教員との協力のために』, 2005年3月
- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, 問答1件, 2005年3月
- 榎本総子, 宇佐美洋: 「話題の切り出しから謝罪に至るまでの言語行動ー日本語母語話者の日本語と中国語母語話者の日本語との比較ー」, 『日本語学習者による日本語発話と、母語発話との対照データベースー開発・応用のための研究ー（科学研究費補助金基盤研究（B）（2）研究成果報告書）』, pp.129-151, 2005年3月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「意見を伝えるテクニックー説得力を生み出すための文章構成」, 『日本語学』No.23, pp.46-55, 明治書院, 2004年8月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 宇佐美洋，池田玲子：「XMLによる作文論理構造表示システム」の教育現場への使用について－議論を促すためのツールとして－，『2004年度日本語教育学会春季大会予稿集』，pp.249-250，日本語教育学会，2004年5月
- 宇佐美洋，籠宮隆之，梶本総子：「『日本語学習者による日本語／母語発話の対照言語データベース』の設計」，『電子情報通信学会技術研究報告』，Vol.104 No.148，pp.29-34，電子情報通信学会，2004年6月
- 梶本総子，宇佐美洋：「『日本語学習者による日本語／母語発話の対照言語データベース』ロールプレイ・データを用いた対話研究」，『2004年度日本語教育学会秋季大会予稿集』，pp.221-222，日本語教育学会，2004年10月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 日本語教育短期研修第5回「作文添削の電子化・共有と、それをういた応用研究の可能性」，2005年3月
- 「フランス語母語話者の日本語作文における「意図不明表現」－執筆者本人による母語訳との対照からわかること－」，第9回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム，2004年8月

3 上記以外の所内業務

ア．研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成16年度 国立国語研究所公開研究発表会「これからの日本語学習支援を考える－学びを支えるモノ・ヒト・コト－」，企画・運営
- 日本語教育短期研修第5回「作文添削の電子化・共有と、それをういた応用研究の可能性」，企画・運営

イ．研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『雑誌「太陽」による確立期現代語の研究－『太陽コーパス』研究論文集－（国立国語研究所報告122）』，刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育ブックレット 8 作文教育における日本語教師と大学専門教員との協力のために』，企画・編集

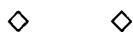
ウ．各種委員会・部会，研究支援等

- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 公開研究発表会部会長
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク・ホームページ運用管理部会員

4 所外活動

ウ．教育活動

- 大東文化大学外国語学部非常勤講師
- 愛知県立大学非常勤講師



金田智子（主任研究員）

1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究（各種研修の実情情報の蓄積・分析）
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究（日本語教育・学習環境調査，資料整理分析）
- 日本語教育研修（長期研修／短期研修）
- 大学院教育（日本語教育指導者養成プログラム／日本語文化研究プログラム）
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 日本語教育における協働志向の実践研究に関する調査研究（代表者）

- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 今後の日本語教師教育のための指導者の役割とリーダーシップに関する研究(分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 日本語コミュニケーション能力の養成に関する教師の実践的知識の研究(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『平成15年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究韓国アンケート調査集計結果報告書』(韓国語版), 2004年11月
- 『平成16年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究台湾アンケート調査集計結果報告書』, 2005年3月
- 「解説書」, 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 4 暮らしの中の「あいまいな表現」』, 2005年3月
- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』, 問答1件, 2005年3月
- 『国語研の窓』, 1件

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「ズバリお答え! 日本語Q & A」, 『月刊日本語』, Vol.17 No.5, pp.30-31, アルク, 2004年5月
- 「実践研究にチャレンジ」, 『月刊日本語』, Vol.17 No.7, pp.8-9, アルク, 2004年7月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』, Vol.23 No.10, pp.88-89, 明治書院, 2004年8月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』, Vol.24 No.2, pp.112-113, 明治書院, 2005年2月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 金田智子, 小河原義朗: 「ワークショップ『教師の役割と研修』仲間と共に成長する中核的教師を目指して—国研の長期研修—」, 『2004年日本語教育国際研究大会「21世紀の日本語教育現場を考える—共通性と相違性の探求—」予稿集』, p.42, 2004年8月
- 小河原義朗, 笠井淳子, 金田智子, 石井恵理子: 「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究—タイ調査報告—」, 『2004年日本語教育国際研究大会「21世紀の日本語教育現場を考える—共通性と相違性の探求—」予稿集』, pp.131-136, 2004年8月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「日本語教育」, 第24回ことばフォーラム 「国立国語研究所の歩み—西が丘時代を中心に—」, 2004年12月
- 池田玲子, 館岡洋子, 文野峯子, 金田智子: 「ワークショップ, 分科会A「読む」協働活動」, 日本語教育短期研修第4回 「教室活動における「協働」を考える」, 2005年3月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成16年度 国立国語研究所公開研究発表会「これからの日本語学習支援を考える—学びを支えるモノ・ヒト・コト—」, 企画・運営
- 第20回ことばフォーラム 「「ことばビデオ」方言の旅—庄内方言の集い—」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第1回 「日本語教育のための文法を考える」, 協力
- 日本語教育短期研修第2回 「言語テストと日本語教育」, 協力
- 日本語教育短期研修第4回 「教室活動における『協働』を考える」, 企画・運営
- ITを活用した日本語教育指導能力向上研修「コンピュータと新日本語教育2004」, 協力

I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育論集』21, 企画・編集

- 『「ことばビデオ」シリーズ〈豊かな言語生活をめざして〉 4 暮らしの中の「あいまいな表現」』, 企画・編集
- 『平成 16 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究台湾アンケート調査集計結果報告書』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集
- 『日本語教育年鑑 2004 年版』, 協力

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会長
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 政研大博士課程部会員
- セクシャル・ハラスメント防止委員会委員
- 移転整備実施委員会 図書館移転・公開作業班員

エ. 見学者への対応等 1 件

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 広島大学留学生センター客員研究員

イ. 学会活動

- 社団法人日本語教育学会教師研修委員会委員
- 日本総合学会評議員
- 日本言語文化研究会運営委員
- 査読 国内雑誌 6 件

ウ. 教育活動

- 日本語教育学会主催日本語教育研究コース オンライン研究コース「外国人児童・生徒のための日本語教育を考える」コーディネーター(平成 16 年度第 1 期)
- 日本語教育学会主催日本語教育研究コース テーマ別研究コース「授業分析ー内省型教師を目指して」講師

5 その他

- 講演, 「日本語を外から眺めてみると」, 『第 88 期北区区民大学「ことばの十字路」』第 5 回, 2004 年 7 月
- 執筆, 「国語研究の最先端 第 10 回ー海外における日本語学習の実態をとらえる」, 『文化庁月報』第 436 号, p.30, 文化庁, 2005 年 1 月



杉本明子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究(日本語教育・学習環境調査, 資料整理分析)
- IT を活用した日本語学習環境の整備
- 日本語教育研修(短期研修)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「第 2 言語としてのオランダ語検定試験の導入と社会的影響」、『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究報告書 世界の言語テストII』, 2005 年 3 月
- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, 問答 1 件, 2005 年 3 月
- 『国語研の窓』, 1 件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「問題解決とコミュニケーション」, 日本児童研究所 編『児童心理学の進歩』, Vol.43, pp.109-134, 金子書房, 2004 年 6 月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「コンピュータ・ネットワークによる作文教育変革の可能性」, 『日本教育工学会論文誌』, Vol.28 No.2, pp.119-129, 日本教育工学会, 2004 年 9 月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 「電子メールによる意見交換と外国語学習一言語学習過程の分析」, 『日本教育工学会第 20 回全国大会講演論文集』, pp.881-882, 日本教育工学会, 2004 年 9 月
- 「社会認知的葛藤のコミュニケーションと学習-相互作用過程においてどのように知識が再構成されるか-」, 『日本教育心理学会第 46 回総会発表論文集』, p.686, 日本教育心理学会, 2004 年 10 月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 中村洋一, 杉本明子: 「測定理論の実際」, 日本語教育短期研修第 2 回 「言語テストと日本語教育」, 2004 年 8 月
- 「電子メールによるコミュニケーション過程と外国語学習」, Language & Literacy 研究会 (東京大学), 2004 年 11 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 日本語教育短期研修第 1 回 「日本語教育のための文法を考える」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第 2 回 「言語テストと日本語教育」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第 3 回 「話しことば教育における学習項目」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第 4 回 「教室活動における『協働』を考える」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第 5 回 「作文添削の電子化・共有と, それを用いた応用研究の可能性」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究報告書 世界の言語テストII』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本語教育学会査読協力者
- 日本語教育学会日本語教育研究コース講師
- 査読 国内雑誌 5 件

ウ. 教育活動

- NHK 放送研修センター日本語教師養成セミナー非常勤講師

福永由佳（研究員）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究（各種研修の実情情報の蓄積・分析）
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究（国内諸機関における学習と教育に関する情報の収集・分析，公表／映像教材の活用に関する研究会等の開催，実践例の収集／教師教材についての教師用指導参考書刊行）
- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築（日本語教育年鑑）
- 日本語教育研修（長期研修）
- 大学院教育（日本語教育指導者養成プログラム）
- 科学研究費補助金 基盤研究 (C) (2) 日本語コミュニケーション能力の養成に関する教師の実践的知識の研究（代表者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 4 暮らしの中の「あいまいな表現」』，2005年3月

B 所員が執筆・編集した単行本

- 『『日本語コミュニケーション能力の養成に関する教師の実践的知識の研究』(科学研究費補助金基盤研究 (C) (2) 研究成果報告書)』，2005年3月

D 論文集等に掲載された論文

- 「フィールドからの声に耳を傾ける」，『日本語学習者と環境との相互作用に関する研究(科学研究費補助金基盤研究 (C) (2) 研究成果報告書)』，pp.81-86，2004年3月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 福永由佳，岡部真理子，下平菜穂，浜田麻里，林さと子：「日本語学習者と学習環境との相互作用」，『2004年度日本語教育学会秋季大会予稿集』，pp.227-238，日本語教育学会，2004年10月

3 上記以外の所内業務

ウ．各種委員会・部会，研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会員

4 所外活動

ウ．教育活動

- (財)ラポ国際交流センターラポ日本語教育研修所講師研修会講師，2004年9月

小河原義朗 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究 (アジア版対訳コーパス/欧米版対訳コーパス)
- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究 (国内諸機関における教師教育に関する情報の収集・分析/各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 (日本語教育・学習環境調査, 資料整理分析)
- I Tを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語教育研修 (長期研修)
- 大学院教育 (日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 若手研究 (B) (2) 外国人の日本語の発音に対する日本人評価の研究—方法論の検討と日本語教育への応用— (代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 多元メディアによる遠隔日本語学習支援システムの研究 (分担者)
- 総務省戦略的情報通信研究開発推進制度若手先端 I T研究者育成型研究開発 発話を重視した日本語 e-Learning システムの開発 (分担者)
- 平成 16 年度文化庁日本語教育研究委嘱 音声を媒体としたテスト問題によって測定される日本語教員の能力に関する基礎的研究 (代表者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『平成 15 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究韓国アンケート調査集計結果報告書』(韓国語版), 2004 年 11 月
- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 4 暮らしの中の「あいまいな表現」』, 2005 年 3 月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 小河原義朗・河野俊之:「音声教育について考える」, 『月刊日本語 2004 年 4 月~2005 年 3 月』

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 「日本語学習者はどのようなリソースを用いているのか?」, 『平成 16 年度国立国語研究所公開研究発表会「これからの日本語学習支援を考える—学びを支えるモノ・ヒト・コト—」』, pp.9-18, 国立国語研究所, 2004 年 10 月
- 小河原義朗, 笠井淳子, 金田智子, 石井恵理子:「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究—タイ調査報告—」, 『2004 年日本語教育学会国際研究大会予稿集発表 1』, pp.131-136, 日本語教育学会, 2004 年 8 月
- 金田智子, 小河原義朗:「ワークショップ『教師の役割と研修』仲間と共に成長する中核的教師を目指して—国研の長期研修—」, 『2004 年日本語教育国際研究大会「21 世紀の日本語教育現場を考える—共通性と相違性の探求—」予稿集』, p.42, 2004 年 8 月
- 小河原義朗, 高橋亜紀子, 才田いずみ, 井口寧, 堀井洋, 川添良幸:「e-Learning を意識したコースウェア設計の考え方」, 『日本語教育方法研究会誌』, Vol.11 No.2, pp.22-23, 日本語教育方法研究会, 2004 年 9 月
- 小河原義朗, 笠井淳子, 石井恵理子:「学習者は何をどのように用いて学習しているのか—日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究—」, 『韓国日本学会第 70 回学術大会予稿集』, pp.486-492, 韓国日本学会, 2005 年 3 月
- 井口寧, 小河原義朗, 高橋亜紀子, 堀井洋, 才田いずみ, 川添良幸:「日本語 e-Learning システムにおける 3 次元画像の活用」, 『2004 年度電気関連学会北陸支部連合大会予稿集』, p.1, 2004 年

F 口頭・ポスター発表 (予稿集なし)

- 高橋亜紀子, 小河原義朗, 才田いずみ:「発話を重視した日本語 e-Learning システムの開発の試みとその評価」, 平成 16 年度第 10 回日本語教育学会研究集会, 2004 年 12 月

- Izumi SAITA, Akiko TAKAHASHI, Yoshiro OGAWARA, Yasushi INOBUCHI, Hiroshi HORII and Yoshiyuki KAWAZOE :
“Fostering better oral Japanese via e-Learning,” *PacCALL@CLaSIC2004*, 2004年12月
- 小河原義朗, 池田優子 : 「リソース型日本語音声教育支援システム(試作版)の開発」, 第5回日本語音声教育方法研究会, 2004年9月
- 小河原義朗, 池田優子 : 「日本語音声教育支援システム「発音のひろば」開発と実践」, コンピュータと新日本語教育, 2004年12月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成16年度 国立国語研究所公開研究発表会「これからの日本語学習支援を考えるー学びを支えるモノ・ヒト・コトー」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第4回 「教室活動における『協働』を考える」, 協力

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育論集』21, 企画・編集
- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして>4 暮らしの中の「あいまいな表現」』, 企画・編集
- 『平成15年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究韓国アンケート調査集計結果報告書』(韓国語版), 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会員

エ. 見学者への対応等 1件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本語教育学会研究集会委員会中央委員
- 日本語教育方法研究会運営委員
- 日本語教育学会学会誌委員会委員

ウ. 教育活動

- 日露青年交流センター2004年度日本語教師支援事業赴任前研修講師

5 その他

- 日本語教育学会 平成16年度実践研究フォーラムラウンドテーブル「実践を問い直す」コーディネーター, 2004年8月
- 日本語教育学会 平成15年度日本語教育研究コース第2期テーマ別研究コース「音声教育ー教師は何ができればならないかー」研究会講師, 2004年8月

菅井英明 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究(日本語教育・学習環境調査, 資料整理分析)
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語教育研修(長期研修)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 外国人定住者の社会的統合に関する政策提言のための実態調査(代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 第二言語によるライティングについての基礎研究: Good writing とは何か(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「アイデア・ユニットを用いた聴解問題作成時のアイテム分析手法の開発について」, 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究報告書 世界の言語テストII』, 2005年3月
- 「定住外国人の読解能力に関する質的分析」, 『文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(2) 報告書「外国人定住者の社会的統合に関する政策提言のための実態調査」』, pp.1-128, 2005年3月

B 所員が執筆・編集した単行本

- 菅井英明, 葛駿鋒共: 「シンガポール」, 鹿島英一 編 『大学生のための短期留学ーオセアニア・アジア・中東ー』, pp.63-86, 風間書房, 2004年4月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「質問調査法を問い直す」, 『日本語学』, Vol.23 No.8, 明治書院, 2004年6月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「現代言語テストの動向講演, ワークショップA「アイテム作成方法」講師」, 日本語教育短期研修第2回 「言語テストと日本語教育」, 2004年8月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 日本語教育短期研修第2回 「言語テストと日本語教育」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『現代雑誌の語彙調査ー1994年発行70誌ー(国立国語研究所報告121)』, 刊行物検討委員会委員
- 『第11回国立国語研究所国際シンポジウム報告書「世界の〈外来語〉の諸相 標準化・活性化を目指す言語生活の多様性」』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 知的財産権部会員
- 普及広報委員会 普及啓発図書企画部会員
- レクリエーション委員会委員

4 所外活動

イ. 学会活動

- e-FLT journal (Electric journal of foreign language teaching, The National University of Singapore, Singapore), International Advisory Board. (シンガポール国立大学刊行 学会誌『e-FLT』海外顧問審議会委員)

ウ. 教育活動

- 恵泉女学園大学非常勤講師



梶本総子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究 (アジア版対訳コーパス/欧米版対訳コーパス)
- 日本語教育研修 (長期研修/短期研修)
- 大学院教育 (日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 若手研究 (B) (2) 日本語学習者と日本語母語話者の提案の言語行動に関する実証的研究 (代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (2) 日本語学習者による日本語発話と、母語発話との対照データベース-開発・応用のための研究 (分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「はじめに-話しことばのシラバス開発の流れと課題-」, 『日本語教育ブックレット 7 話しことば教育における学習項目』, pp.1-8, 2005年3月
- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, 問答2件, 2005年3月
- 『国語研の窓』, 1件

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「言語使用と社会を攻略する」, 『日本語教育能力検定試験合格するための本 2004』, pp.106-113, アルク, 2004年4月
- 「提案に対する反対の伝え方-親しい友人同士の会話データをもとにして-」, 『日本語学』, Vol.23 No.10, pp.22-33, 明治書院, 2004年8月
- 「『作文対訳DB』を用いた誤用と母語干渉に関する研究の可能性-ドイツ語母語話者の日本語作文とそのドイツ語訳をメインデータとして-」, 『第17回日本語教育連絡会議発表論文集 Vol.17』, pp.25-31, 日本語教育連絡会議, 2004年3月

D 論文集等に掲載された論文

- 梶本総子, 宇佐美洋: 「話題の切り出しから謝罪に至るまでの言語行動-日本語母語話者の日本語と中国語母語話者の日本語との比較-」, 『日本語学習者による日本語発話と、母語発話との対照データベース-開発・応用のための研究 (科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書)』, pp.129-151, 国立国語研究所, 2005年3月
- 宇佐美洋, 籠宮隆之, 梶本総子: 「『日本語学習者による日本語/母語発話の対照言語データベース』の設計」, 『日本語学習者による日本語発話と、母語発話との対照データベース-開発・応用のための研究 (科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書)』, pp.1-15, 国立国語研究所, 2005年3月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 宮谷敦美, 梶本総子: 「相手と場面に応じた会話能力養成の重要性」, 『韓国日本文化學會 (JCAK) 2004 年度 春季 國際學術大會 論文發表要旨集』, pp.67-73, 韓国日本文化學會, 2004 年 4 月
- 宇佐美 洋, 籠宮 隆之, 梶本 総子: 『『日本語学習者による日本語/母語発話の対照言語データベース』の設計』, 『電子情報通信学会技術研究報告信学技法』, Vol.104 No.148, pp.29-34, 電子情報通信学会, 2004 年 6 月
- 宮谷敦美, 梶本総子: 「会話能力養成を目指した教材開発と指導方法に関する一提案—相手と場面に応じた会話能力をつけるために—」, 『2004 年度日本語教育学会実践研究フォーラム予稿集』, pp.139-142, 日本語教育学会, 2004 年 7 月
- 梶本総子, 宇佐美洋: 『『日本語学習者による日本語/母語発話の対照言語データベース』ロールプレイ・データを用いた対話研究』, 『2004 年度日本語教育学会秋季大会予稿集』, pp.221-222, 日本語教育学会, 2004 年 10 月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「趣旨説明」, 日本語教育短期研修第 3 回 「話しことば教育における学習項目」, 2004 年 11 月
- 宮谷敦美, 梶本総子: 「「聞く」と「話す」を統合した中上級用会話教材の開発」, 関西 OPI 研究会, 2004 年 6 月
- 「母語訳によってうきぼりになる学習者の日本語作文の問題点—「ドイツ語母語話者による日本語作文とそのドイツ語との対訳データベースを使って」—」, 日本語教育連絡会議, 2004 年 8 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第 12 回国際シンポジウム 「世界の日本語研究の新たな発展を求めて」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第 3 回 「話しことば教育における学習項目」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『国立国語研究所研究活動一覧(15 年度)』, 企画・編集
- 『日本語科学』15, 企画・編集
- 『日本語科学』16, 企画・編集
- 『日本語教育ブックレット 7 話しことば教育における学習項目』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会等, 研究支援等

- 研究計画委員会 研究企画調整部会「研究活動一覧」作成作業班員
- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 政研大修士課程部会員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 査読 国内雑誌 2 件

ウ. 教育活動

- 成蹊大学非常勤講師

日本語教育部門第二領域

柳澤好昭（領域長）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究（国内諸機関における教師教育に関する情報の収集・分析／各種研修の実行情報の蓄積・分析）
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究（日本語教育・学習環境調査，資料整理分析）
- I Tを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築（日本語教育年鑑）
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（日本語教育支援総合ネットワーク／日本語教育教材の素材提供／バーチャル日本語情報資料館システム）
- 日本語教育研修（遠隔研修）
- 大学院教育（日本語教育指導者養成プログラム／日本語文化研究プログラム）
- 科学研究費補助金 基盤研究（B）（2）今後の日本語教師教育のための指導者の役割とリーダーシップに関する研究（代表者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『日本語教育年鑑 2004 年版』，2004 年 12 月
- 『国語研の窓』，1 件

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 「日本語学習者はどのようにリソースを用いているのか？－電子化素材と電子媒体－」，『平成 16 年度国立国語研究所公開研究発表会「これからの日本語学習支援を考える－学びを支えるモノ・ヒト・コト－』，pp.19-30，国立国語研究所，2004 年 10 月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成 16 年度 国立国語研究所公開研究発表会「これからの日本語学習支援を考える－学びを支えるモノ・ヒト・コト－」，企画・運営
- I Tを活用した日本語教育指導能力向上研修「コンピュータと新日本語教育 2004」，企画・運営

I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育年鑑 2004 年版』，企画・編集

ウ. 各種委員会・部会，研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 知的財産権部会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 図書館運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員

- 大学院運営委員会 政研大企画調整部会員
- 大学院運営委員会 政研大修士課程部会長
- 施設整備委員会委員
- 移転整備実施委員会 移転整備作業班員

エ. 見学者への対応等 2件

4 所外活動

イ. 学会活動

- (社)日本語教育学会評議員

ウ. 教育活動

- 高知大学非常勤講師
- 拓殖大学非常勤講師

5 その他

- 講演, 「ITを活用した日本語学習」, 韓国日語教育学会, 2004年11月
- 講演, 「IT社会の教材: ITを活用したプロジェクトワークによる学習」, 浜松市国際交流協会, 2004年11月
- 講演, 「コンピュータ利用と言語学習・文化理解」, 韓国外国語教育学会, 2004年12月
- 講演, 「「できる・分かる」と「楽しむ・遊ぶ」と「学ぶ」: 勉強から学習へ」, 浜松市国際交流協会, 2005年2月
- 講演, 「「できる・分かる」と「楽しむ・遊ぶ」と「学ぶ」: 勉強から学習へ」, 浜松市国際交流協会, 2005年3月
- パネリスト, 日本語教育ネットワークとポータルサイト, 東京外国語大学「日本語 e-learning の現状と未来」, 2005年3月



島村直己 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究(日本語教育・学習環境調査, 資料整理分析)
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 科学研究費補助金 基盤研究(A)(1) 児童・生徒の言語能力と言語生活(代表者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『国語学習指導アンケート集計表』 科研費報告書, 2004年7月

D 論文集等に掲載された論文

- 島村直己, 永野秀章, 山下勇人, 矢部玲子: 「高校生の国語力ー高校生国語テスト結果報告ー」, 科研費報告書 『高校生の国語力』, pp.3-6, 2005年3月
- 島村直己, 永野秀章, 山下勇人: 「高校生の国語力(2)ー「文章表現のための言語能力テスト」結果報告ー」, 科研費報告書 『高校生の国語力』, pp.7-14, 2005年3月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 「教育基本語彙データベースの増補・改訂について」, 全国大学国語教育学会, 2004年5月
- 「中学校の漢字教育」, 日本読書学会, 2004年8月
- 島村直己, 長野秀章, 山下勇人: 「高校生の国語力(2) - 「文章表現のための言語能力テスト」結果報告」, 日本教育社会学会, 2004年9月
- 矢部玲子, 岩淵俊子, 島村直己: 「中学校国語教科書の漢字調査」, 全国大学国語教育学会, 2004年10月
- 「国語学習指導アンケート - 1万人の教師の回答結果 -」, 全国大学国語教育学会, 2004年10月
- 島村直己, 新名主健一, 米田猛: 「作文の文章量の発達」, 日本教育心理学会, 2004年10月
- 島村直己, 米田 猛, 松山雅子: 「子どもの乱暴なことばづかい」, 日本語学会, 2004年11月

5 その他

- 取材対応, 教育評論 国語学習指導アンケートについて, 2004年12月



野山広（主任研究員）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究（国内諸機関における教師教育に関する情報の収集・分析／各種研修の実行情報の蓄積・分析）
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究（日本語教育・学習環境調査, 資料整理分析）
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（日本語教育支援総合ネットワーク）
- 日本語教育研修（遠隔研修）
- 大学院教育（日本語教育指導者養成プログラム）

2 成果公表活動

B 所員が執筆・編集した単行本

- 野山広, 伊東祐郎, 杉澤経子, 山西優二, 河北祐子, 宮崎妙子, 吉村多恵子, 山辺真理子（むさしの参加型学習実践研究会）編: 『やってみよう参加型学習 - 日本語教室のための4つの手法～理念と実践～』, スリーエーネットワーク, 2005年1月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「ニューカマーの人びとへの日本語教育」, 『部落解放』, Vol.534, pp.102-115, 解放出版社, 2004年5月
- 「多文化共生の時代に応じた日本語教育のあり方」, 『経済 Trend (月刊・経済トレンド)』8月号, pp.38-39, 日本経済団体連合会, 2004年8月
- 「隣の町のブラジル人 - 地域社会における日本語習得支援活動に焦点を当てながら」, 『月刊言語』, Vol.33 No.9, pp.66-69, 大修館書店, 2004年9月
- 「寸言 多文化共生社会に対応した日本語学習支援活動の充実に向けて - 夢を語り合うことの重要性 -」, 『日本語教育研究』第48号, pp.30-32, 財団法人 言語文化研究所, 2005年1月
- 「行政の取り組みが地域を変える」, 『月刊 日本語』1月号, pp.6-7, アルク, 2005年1月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 野山広, 川上郁雄, 石井恵理子, 池上摩希子, 齋藤ひろみ: 「年少者日本語教育学の再構築に向けて - 『日本語指導が必要な子どもたち』を問い直す -」, 『2004年度 日本語教育学会春季大会予稿集』, pp.273-284, 社団法人 日

本語教育学会，2004年5月

- 「地域における日本語支援活動の展開からみえてくる「溝」の意味－文化庁の事業を事例として－」、『第13回小出記念日本語教育研究会 予稿集』，pp.16-21，小出記念日本語教育研究会，2004年7月
- 「国際化（グローバル）時代の日本語教員養成の在り方に関する一考察－第二言語（外国語）としての自国語の教員養成制度の国際比較を通して－」、『平成16年度日本語教育学会国際大会予稿集発表2』，pp.147-152，社団法人日本語教育学会，2004年8月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第21回ことばフォーラム 「こんにちは“コッケン”です。－みなさんの質問から－」，協力
- 第22回ことばフォーラム 「現代の外来語」，協力
- 第23回ことばフォーラム 「外来語とどう付き合うか」 ，協力
- 第24回ことばフォーラム 「国立国語研究所の歩み－西が丘時代を中心に－」 ，協力
- ITを活用した日本語教育指導能力向上研修「コンピュータと新日本語教育2004」，企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語社会における配慮の言語行動』，刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会，研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員

エ. 見学者への対応等 1件

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 文化庁委嘱「学校の余裕教室等を活用した親子参加型の日本語教室事業」（新宿区），協力者
- 「難民支援のための日本語支援関係団体連絡会議」，協力者

イ. 学会活動

- 査読 国内雑誌1件

ウ. 教育活動

- 早稲田大学非常勤講師
- 自治医科大学非常勤講師
- 愛知県立大学非常勤講師
- 朝日カルチャーセンター講師

5 その他

- 司会，「バイリンガル教育：もうひとつの二言語・二文化教育－日本におけるろう児のバイリンガル教育に関する社会言語学的考察－」，2004年度異文化間教育学会，2004年5月
- 講演，「シンポジウム 地域日本語教育の今，そしてこれから」，平成16年度日本語ボランティア第1回講習会（財団法人ひろしま国際センター主催），2004年6月
- コーディネータ・発題者，「年少者日本語教育学を考える会」（発起人：池上摩希子，石井恵理子，川上郁雄，齋藤ひろみ，野山広），2004年7月
- コメントータ，第5分科会「どうして協会は『外国人支援事業』をするのか」，第2回国際交流協力実践者全国会議2004，2004年8月
- 執筆・編集，『日本語学習支援の充実－共に育む地域社会の構築へ向けて－』，国立印刷局，2004年8月

- インタビュー記事掲載、「地域における日本語学習支援の『羅針盤』として」,「発言」,『日本語教育新聞』,2004年9月
- 講師,「地域における日本語学習支援の充実へ向けた施策の展開と今後の展望ー国内外の外国人受入れ施策及び言語教育施策の展開を事例としてー」,ボランティア養成講座「日本の多文化な子どもたち」(大阪市中央青年センター),2004年10月
- 講師・パネリスト,「多文化共生シンポジウム(これからの日本語支援とは)」(新潟大学国際センター主催,新潟市朱鷺メッセ中会議室),2004年10月
- 講演,「共に育む場の創造を目指すためにはー地域における日本語学習支援の充実へ向けた施策の展開と今後の展望ー」秋田県象潟町日本語教室指導者研修会及び外国籍配偶者を囲んでの情報交換会(秋田県教育庁主催),2004年10月
- インタビュー記事掲載,「外国人の日本語学習支援,『調整役』の育成が必要,地域の大学に中核的機能を」,「新潟で聞く」,『新潟日報』,2004年10月
- コメンテータ,「日本語ボランティア・参加型ワークショップ」むさしの国際交流まつり(主催:武蔵野市国際交流協会),2004年11月
- コーディネータ・司会,「年少者日本語教育学を考える会」1回研究集会(発起人:池上摩希子,石井恵理子,川上郁雄,齋藤ひろみ,野山広),2004年11月
- 講演,第2分科会「日本語教育の現状と課題ー地域日本語学習支援の充実と多文化共生社会の構築ー」,平成16年度第2回国際交流協力ネットワーク会議及び地方自治体職員等実務研修(財団法人茨城県国際交流協会,茨城県主催,県民文化センター分館会議室),2004年12月
- パネリスト,「多言語多文化社会を支える日本語学習支援活動の充実へ向けてー人的ネットワーク構築の重要性ー」,全体会「多言語多文化社会における『内なる国際化』」フォーラム「ことばとネットワーク」,2004年12月
- 講師,課題協議1「日本語教育の現状と課題ー年少者への日本語指導,言語教育の在り方について考えるー」,平成16年度外国人児童生徒等に対する日本語指導のための指導者の養成を目的とした研修(文部科学省・独立行政法人教員研修センター),2005年1月
- 講師,「地域日本語教育って何?ー文化庁の施策からー」足立区日本語ボランティア研修,2005年2月
- 講師,「地域日本語教育や習得支援について考えるー国や地域の施策展開を事例としてー」目黒区日本語ボランティア研修,2005年2月
- 講師,「日本語教育と日本語ボランティアの役割」高崎市国際交流協会「日本語指導者養成講座」,2005年2月
- コメンテータ「ワールドわくわく子育てしゃべり場ー多文化子育ておしゃべり広場」,「子ども世界の遊び場」,2005年2月
- コーディネータ・司会,「年少者日本語教育学を考える会」第2回研究集会(発起人:池上摩希子,石井恵理子,川上郁雄,齋藤ひろみ,野山広),2005年2月
- 講演,「多文化共生社会と日本語教育の将来」,朝日カルチャーセンター「日本語教師養成講座」説明会,2005年3月
- 分科会担当講師・モデレータ,国際シンポジウム『「グローバル」をめざした留学生と地域との交流』(日本学生支援機構主催),2005年3月
- 講師,「日本語教育の展望2005」NHK-CTI月例セミナー3月セッション(主催:NHK放送研修センター),2005年3月
- 講師,「日本語教育と多文化共生社会ー地域日本語学習支援の現場からみえてくることー」『21世紀の日本語教育世界を創る』研究会,2005年3月

植木正裕 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究 (各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 (映像教材の活用に関する研究会等の開催, 実践例の収集/教師教材についての教師用指導参考書刊行)
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成 (日本語教育支援総合ネットワーク/バーチャル日本語情報資料館システム)
- 大学院教育 (日本語教育指導者養成プログラム/日本語文化研究プログラム)

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第21回ことばフォーラム 「こんにちは“コッケン”です。ーみなさんの質問からー」, 協力
- ITを活用した日本語教育指導能力向上研修「コンピュータと新日本語教育2004」, 企画・運営
- 日韓相互理解リソース開発協働プロジェクト, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ18 伝え合いの言葉』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 概要部会員
- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会員
- ネットワーク運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク基盤整備部会員
- 移転整備実施委員会 ネットワーク基盤移転整備作業班員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 情報処理学会 自然言語処理研究会 運営委員

5 その他

- インタビュー記事, 「日本語教育に役立つ辞書」, 『月刊日本語』2004年11月号, 2004年11月



早田美智子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (日本語教育年鑑)
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成 (日本語教育教材の素材提供)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『日本語教育年鑑 2004 年版』, 2004 年 12 月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育年鑑 2004 年版』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 図書館運営委員会 図書選定部会員
- 移転整備実施委員会 図書館移転・公開作業班員

情報資料部門

熊谷康雄 (部門長)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成
- 科学研究費補助金 研究成果公開促進費 『日本言語地図』データベース(代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(1) 日本語方言形成モデルの構築に関する研究(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『国語年鑑 2004年版』, 2004年11月
- 『日本語ブックレット 2002(改訂版)』, 2005年3月公開

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「国立国語研究所における言語生活実態調査の変遷 - 課題と調査の概観 -」, 韓国国立国語研究院, 2004年10月
- 「『日本言語地図』データベースからの発想」, 公開講演・シンポジウム「方言の記録と保存 - 未来に送ることばの宝庫」(東北大学大学院文学研究科), 2005年1月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第8巻 長野・山梨・静岡(国立国語研究所資料集13-8)』, 刊行物検討委員会委員長
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第9巻 岐阜・愛知・三重(国立国語研究所資料集13-9)』, 刊行物検討委員会委員長
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第10巻 富山・石川・福井(国立国語研究所資料集13-10)』, 刊行物検討委員会委員長

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 研究企画調整部会員
- 国際交流委員会委員
- 国際交流委員会 研究交流企画部会員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 企画調整部会員
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 企画部会員
- ネットワーク運営委員会委員長
- 大学院運営委員会委員
- 施設整備委員会委員
- 情報公開委員会委員長
- セクシャル・ハラスメント防止委員会委員長
- 外来語所内委員会委員

- 外来語所内委員会 相談窓口部会長
- 移転整備実施委員会委員
- 移転整備実施委員会 ネットワーク基盤移転整備作業班長
- 移転整備実施委員会 図書館移転・公開作業班長



米田正人（上席研究員）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の現在（意識調査）
- I Tを活用した日本語学習環境の整備
- 言語使用・言語意識に関する行動計量学的研究
- 研究拠点形成費補助金 人類の幸福に資する社会調査（21世紀COEプログラム）（分担者）
- 科学研究費補助金 研究成果公開促進費 地域言語の共通語化 40年経年調査データベース（分担者）
- 科学研究費補助金 基盤研究（B）外国人被災者のための「やさしい日本語」を用いた災害時の情報伝達についての研究（分担者）

2 成果公表活動

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 米田正人，梁敏鎬：「日中韓学生意識調査の実施と経年比較調査に向けて」、『韓国日本語学会第10回学術発表会予稿集』，pp.103-106，韓国日本語学会，2004年9月
- 梁敏鎬，水野義道，米田正人：「東アジアの日本語観－2003年日中韓学生意識調査の結果から－」、『社会言語科学会第14回大会発表論文集』，pp.204-207，2004年9月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- Masato YONEDA：“International Census on Attitudes Toward Japanese,” *Symposium at University of Cologne: Social Science Infrastructure and Japanese Data Collections*, 2005年2月

3 上記以外の所内業務

ウ. 各種委員会・部会，研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- レクリエーション委員会委員長

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 農林水産省農作物命名登録委員会委員

イ. 学会活動

- 日本行動計量学会運営委員会委員 和文誌編集委員会委員
- 日中コミュニケーション研究会理事 事務局長

情報資料部門第一領域

伊藤雅光 (領域長)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (国語年鑑/新聞記事データベース/図書館目録データベース/図書館システム)
- 大学院教育 (日本語文化研究プログラム)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『国語年鑑 2004 年版』, 2004 年 11 月
- 『国語研の窓』, 1 件
- 「新聞に見られた日本語をめぐる状況(1)ー概観」, 『日本語ブックレット 2002 改訂版』, pp.概観 1-概観 17, 2005 年 3 月公開

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「i モードの「i」ってどういう意味?」, 伊藤雅光, 荻野綱男他 編 『日本語あれこれ事典 (増補改訂版)』, pp.161-163, 明治書院, 2004 年 5 月
- 「ケータイ、チューハイは、なぜ「ケータイ」「チューハイ」ではなく「一」なの?」, 伊藤雅光, 荻野綱男他 編 『日本語あれこれ事典 (増補改訂版)』, pp.250-251, 明治書院, 2004 年 5 月
- 「ワープロの仮名漢字変換はだれが発明したの?」, 伊藤雅光, 荻野綱男他 編 『日本語あれこれ事典 (増補改訂版)』, pp.332-335, 明治書院, 2004 年 5 月
- 「電子メールなどのフェイスマークの起源はなに?」, 伊藤雅光, 荻野綱男他 編 『日本語あれこれ事典 (増補改訂版)』, pp.341-344, 明治書院, 2004 年 5 月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 「分析日本語学から合成日本語学へーテキスト自動合成システムによるパラダイム転換の可能性」, 『日本語学会 2004 年度春季大会予稿集』, pp.177-184, 日本語学会, 2004 年 5 月
- 「文字単位の高次近似列によるテキストモデルの合成実験について」, 『計量国語学会第 48 回要旨集』, p.5, 計量国語学会, 2004 年 9 月
- 「【シンポジウム】データとしてのことばーデータをどう処理するか」, 『日本語学会第 129 回大会予稿集』, pp.23-32, 日本語学会, 2004 年 11 月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第 24 回ことばフォーラム 「国立国語研究所の歩みー西が丘時代を中心にー」, 企画・運営, 司会

I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『現代雑誌の語彙調査ー1994 年発行 70 誌ー (国立国語研究所報告 121)』, 刊行物検討委員会委員
- 『国語年鑑 2004 年版』, 企画・編集
- 『日本語ブックレット 2002 改訂版』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会長
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 図書選定部会長
- 施設整備委員会委員
- 情報公開委員会委員
- 移転整備実施委員会 移転整備作業班員
- 移転整備実施委員会 図書館移転・公開作業班員

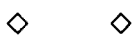
4 所外活動

イ. 学会活動

- 計量国語学会理事・庶務主任
- 計量国語学会創立 50 周年記念企画委員会委員
- 『計量国語学事典』編集委員会（委員長）
- 語彙辞書研究会運営委員
- 査読 国内雑誌 7 件

5 その他

- 講演, 「流行歌をつくるパソコン」, 第 88 期北区区民大学（総合コース）「ことばの十字路口」, 北とびあ, 2004 年 6 月
- 講演, 「日本語の歴史」, 目黒区文化講座「ことばを楽しむ」, 緑が丘文化会館, 2004 年 9 月
- 出演, 「はなまるマーケット もらってうれしい! 年賀状の極意」, TBS 放送, 2004 年 12 月
- 監修, 『日本語学論説資料 39』, 日本語学論説資料保存会, 2004 年 12 月



井上文子（主任研究員）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索（方言文法全国地図）
- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築（図書館目録データベース／図書館システム）
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（研究資料のデジタル化）
- 科学研究費補助金 基盤研究（C）（2）「談話資料」による方言コードの変容に関する研究（代表者）
- 科学研究費補助金 基盤研究（B）（1）方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究（分担者）
- 科学研究費補助金 基盤研究（C）（2）薩南諸島におけるネオ方言（中間方言）の実態調査（分担者）
- 科学研究費補助金 研究成果公開促進費データベース 全国方言談話データベース（作成分担者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第 8 巻 長野・山梨・静岡（国立国語研究所資料集

13-8)』, 2004年6月

- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第9巻 岐阜・愛知・三重 (国立国語研究所資料集 13-9)』, 2004年9月
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第10巻 富山・石川・福井 (国立国語研究所資料集 13-10)』, 2004年12月
- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, 問答1件, 2005年3月
- 井上文子, 真田信治, 三井はるみ, 金美貞 編: 『接客談話資料集 (科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究成果報告書)』, pp.1-157, 2005年2月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「日本のふるさとことば」, 『文化庁月報』No.433, pp.30-30, ぎょうせい, 2004年10月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 田原広史, 井上文子, 鳥谷善史, 佐藤亮一, 江川清, 真田信治: 「方言音声データベースの作成と普及についてー『日本のふるさとことば集成』の紹介ー」, 『日本語学会 2004年度春季大会予稿集』, pp.185-192, 日本語学会, 2004年5月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第8巻 長野・山梨・静岡 (国立国語研究所資料集 13-8)』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第9巻 岐阜・愛知・三重 (国立国語研究所資料集 13-9)』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第10巻 富山・石川・福井 (国立国語研究所資料集 13-10)』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集
- 『日本語教育ブックレット 7 話しことば教育における学習項目』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育ブックレット 8 作文教育における日本語教師と大学専門教員との協力のために』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員
- 移転整備実施委員会 図書館移転・公開作業班員

エ. 見学者への対応等 5件

4 所外活動

ウ. 教育活動

- 短期大学非常勤講師
- 日本語教師養成講座非常勤講師

5 その他

- 講演, 方言と共通語, 北区区民大学, 北とびあ, 2004年6月
- 講演, 日本語の標準語と方言, 目黒区文化講座, 緑が丘文化会館, 2004年10月

池田理恵子（主任研究員）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築（新聞記事データベース）
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 社会動向を反映した日本語研究のための課題設定に関する基礎的研究（分担者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 池田理恵子, 辻野都喜江:「新聞記事に見る分野・話題の推移」,『国語年鑑 2004 年版』, pp.28-36, 2004 年 11 月
- 『日本語ブックレット 2002 改訂版』, 2005 年 3 月公開
- 『国立国語研究所新聞切抜集 (『新聞所載国語関係記事切抜集』目録データベース)』, 2005 年 3 月公開

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語ブックレット 2002 改訂版』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 知的財産権部会員
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク・ホームページ運用管理部会員



新野直哉（主任研究員）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築（国語年鑑）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「第1部動向 1.刊行図書動向」,『国語年鑑 2004 年版』, pp.9-14, 2004 年 11 月
- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, コラム 1 件, 2005 年 3 月

D 論文集等に掲載された論文

- 「「濃い顔」の「濃い」ってどういう意味?」, 宮地裕, 甲斐睦朗監修 編『日本語あれこれ事典』, pp.148-149, 明治書院, 2004 年 5 月
- 「「タメ口」の「タメ」って何?」, 宮地裕, 甲斐睦朗監修 編『日本語あれこれ事典』, pp.151-153, 明治書院, 2004 年 5 月
- 「続・“役不足”の「誤用」について」, 近代語研究会 編『日本近代語研究』, Vol.4 , pp.73-83, ひつじ書房, 2004 年 12 月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「“振り返り”の意味変化について 《気づかない意味変化》の一例として」, 近代語研究会, 2004年5月
- 「文献情報の収集・提供」, 新庁舎竣工記念式典パネル展示, 2005年3月

3 上記以外の所内業務

I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『国語年鑑 2004年版』, 企画・編集
- 『国語研の窓』, 企画・編集
- 『日本語ブックレット 2002改訂版』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 国語研の窓部会長

4 所外活動

I. 学会活動

- 日本語学会庶務委員
- 査読 国内雑誌 1件

ウ. 教育活動

- 目白大学大学院国際交流研究科非常勤講師

5 その他

- 講演, 「日本語の話あれこれ」, 中京大学国文学会, 中京大学, 2004年11月
- 取材対応, 「新日本語の現場」, 読売新聞, 2005年3月



齋藤達哉 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (国語年鑑/日本語教育年鑑)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『国語年鑑 2004年版』, 2004年11月
- 「雑誌文献の動向」, 『国語年鑑 2004年版』, pp.15-21, 2004年11月
- 『日本語ブックレット 2002改訂版』, 2005年3月公開

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- “Trend Survey of Comparison Study on Korean and Japanese: Based on ‘Kokugo-Nenkan,’” 『日本文化學報』 No.24, pp.105-116, 韓国日本文化學會, 2005年2月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 「韓日言語研究の動向とその特徴－近年の『国語年鑑』の分析から－」, 『韓国国日本文化學會 2004 年度 秋季 国際韓国国日本文化學會 2004 年度 秋季 国際심포지움 및 分科發表大會』, pp.33-38, 韓国国日本文化學會, 2004 年 10 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 開所式ポスター発表「文献情報の収集・公開」, ポスター作成

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』15, 企画・編集
- 『日本語科学』16, 企画・編集
- 『国語年鑑 2004 年版』, 企画・編集
- 『日本語教育年鑑 2004 年版』, 協力
- 『日本語ブックレット 2002 改訂版』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 普及広報委員会 概要部会員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員

エ. 見学者への対応等 7 件

4 所外活動

ウ. 教育活動

- 跡見学園女子大学人文学部非常勤講師
- 目黒区文化講座講師, 2004 年 9 月

5 その他

- 監修, 『日本語学論説資料 39』, 日本語学論説資料保存会, 2004 年 12 月



辻野都喜江（研究員）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築（新聞記事データベース）
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 社会動向を反映した日本語研究のための課題設定に関する基礎的研究（分担者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 池田理恵子, 辻野都喜江:「新聞記事に見る分野・話題の推移」,『国語年鑑 2004 年版』, pp.28-36, 2004 年 11 月
- 『日本語ブックレット 2002 改訂版』, 2005 年 3 月公開
- 『国立国語研究所新聞切抜集 (『新聞所載国語関係記事切抜集』 目録データベース)』, 2005 年 3 月公開

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『国語研の窓』, 企画・編集
- 『日本語ブックレット 2002 改訂版』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 国語研の窓部会員



中山典子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (図書館目録データベース/図書館システム)

3 上記以外の所内業務

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 図書館運営委員会 図書選定部会員
- レクリエーション委員会委員

情報資料部門第二領域

横山詔一（領域長）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム
- 言葉に関する電話質問等への対応
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（日本語教育支援総合ネットワーク／インターネットによる海外提供システム）
- 大学院教育（日本語教育指導者養成プログラム／日本語文化研究プログラム）
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 電子政府 6万字種データベースに準拠した海外日本語研究者向け Web 漢字辞書の作成（代表者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「漢字環境学と情報通信政策」,『海外言語政策関係参考資料 3 「韓国『漢字教育と漢字政策についての国際学術会議 予稿集』』, pp.83-95, 2005年3月
- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, コラム 1件, 2005年3月
- 『国語研の窓』, 1件
- Yokoyama Shoichi, Lee Sau Lan, & Ishida Toshiko: Yokoyama Shoichi(eds.) “Bibliographic catalogue web-based search system designed for non-Japanese browsers ‘JiBOOKS’:Report on evaluation survey in Malaysia,” 2005年4月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「文字処理の認知科学」,『言語』, Vol.33 No.8, pp.56-63, 大修館書店, 2004年8月

D 論文集等に掲載された論文

- Yokoyama Shoichi, Long Eric, Yoneda Junko, Wada Yukiko, Kuroda Shinjiro & Shimokawa Kazuo: “Web IME: Web-based Japanese input method editor applied to a search system for library catalogues,” *IPSJ SIG Technical Report*, Vol.2004-DD-46 No.(7), pp.43-47, 情報処理学会, 2004年9月
- 横山詔一, 笹原宏之, 黒田信二郎, 澤田照一郎, 野島伸一, 石岡俊明: 「漢字ユビキタスを支える文字情報集積体の開発」, *IPSJ SIG Technical Report*, Vol.2004-CH-64 No.(7), pp.47-54, 情報処理学会, 2004年11月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 藤川美穂, 中野敦, 横山詔一: 「日本語情報検索におけるローマ字誤入力の分析: 韓国人学習者のコンピュータ・リテラシーに関する実態調査」, 『2004年度日本語教育国際研究大会予稿集発表 1』, pp.42-47, 日本語教育学会, 2004年8月
- 「漢字環境学と情報通信政策」, 『漢字教育及び漢字政策に対する国際会議』, pp.137-159, 韓国語文会, 2004年9月
- 横山詔一, 野崎浩成: 「日本語 WebIME を搭載した海外向け図書情報提供システムの開発」, 『日本教育工学会第20回全国大会講演論文集』, pp.947-948, 日本教育工学会, 2004年9月
- 野崎浩成, 横山詔一: 「外来語言い換え案に示された語彙の辞書掲載状況の分析—電子辞典『大辞林』を用いた調査—」, 『日本教育工学会第20回全国大会講演論文集』, pp.243-244, 日本教育工学会, 2004年9月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- Eric Long, Yoshiyuki Asahi, Yukiko Wada, Shoichi Yokoyama, & Hiroyuki Sasahara: "The National Institute for Japanese Language as a Governmental Research Institute: Partnerships with the Ministry of Economy, Trade, and Industry," *Japan Studies Association of Canada Conference 2004*, 2004年10月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第20回ことばフォーラム 「ことばビデオ」方言の旅ー庄内方言の集いー, 企画・運営
- 第24回ことばフォーラム 「国立国語研究所の歩みー西が丘時代を中心にー」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『雑誌「太陽」による確立期現代語の研究ー『太陽コーパス』研究論文集ー（国立国語研究所報告122）』, 刊行物検討委員会委員
- 『海外言語政策関係参考資料3「韓国『漢字教育と漢字政策についての国際学術会議 予稿集』』, 協力
- 『国語研の窓』, 協力

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会委員 英文概要部会員
- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員
- ネットワーク運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク基盤整備部会長
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 政研大企画調整部会員
- 大学院運営委員会 政研大博士課程部会員
- 施設整備委員会委員
- 外来語所内委員会 相談窓口部会員
- 移転整備実施委員会 ネットワーク基盤移転整備作業班員
- 次期中期計画小委員会委員

エ. 見学者への対応等 8件

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 経済産業省委託 汎用電子情報交換環境整備プログラム文字対応WG委員
- 経済産業省委託 汎用電子情報交換環境整備プログラム実務者会議委員
- カナダ, ヴィクトリア大学アジア太平洋地域先端研究センター外部顧問

イ. 学会活動

- 計量国語学会 理事
- 日本心理学会 認定心理士認定委員会委員
- 日本心理学会 認定心理士認定委員会カリキュラム検討小委員会委員
- 査読 国内雑誌 4件
- 査読 海外雑誌 1件

ウ. 教育活動

- 早稲田大学大学院日本語教育研究科非常勤講師
- 青山学院大学文学部非常勤講師

5 その他

- 講演, 書誌データにみる漢字環境学: 中間コードの役割と正規化, 第 6 回図書館総合展フォーラム, パシフィコ横浜, 2004 年 11 月



山田貞雄 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 言葉に関する電話質問等への対応

2 成果公表活動

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「みなさんの質問から」, 第 21 回ことばフォーラム 「こんにちは“コッケン”です。ーみなさんの質問からー」, 2004 年 7 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第 21 回ことばフォーラム 「こんにちは“コッケン”です。ーみなさんの質問からー」, 企画・運営
- 第 22 回ことばフォーラム 「現代の外来語」, 企画・運営
- 第 23 回ことばフォーラム 「外来語とどう付き合うか」, 企画・運営
- 第 24 回ことばフォーラム 「国立国語研究所の歩みー西が丘時代を中心にー」, 協力

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 普及啓発図書企画部会員
- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員
- 外来語所内委員会 相談窓口部会員

エ. 見学者への対応等 3 件

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 日本広報協会広報アドバイザー・広報コンクール審査員

ウ. 教育活動

- 第 88 期北区区民大学「ことばの十字路口」講師「『ことば』の質問箱」, 2004 年 5 月
- 目黒区教育委員会文化講座「ことばを楽しむ」講師「「おかしな日本語」」, 2004 年 8 月

5 その他

- コメント掲載、「窓 論説委員室から『なにげに』」、『朝日新聞』、2004年7月
- 出演、「日本テレビ“汐留スタイル”国語に関する世論調査クイズコメント」、2004年10～11月
- 執筆、「国語研究の最先端」第8回「国語を電話で聞く・答える」、『文化庁月報』11月号、2004年11月
- 執筆、「教えて！大ギモン『おはよう』『こんにちは』『こんばんは』。この3つのあいさつの意味は？」、学研『みどりのなかま』2004年11月号、2004年11月
- 執筆、「一週間の始まりは日曜日？」、『日本の学童はいく』2月号、2005年2月
- コメント掲載、「ことばの交差点『桜』」、『朝日新聞』、2005年3月
- コメント掲載、「疑問解決モンジロー『「貴様」は敬語でないの？』」、『朝日新聞』、2005年3月



森本祥子（研究員）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（電子化報告書・資料集等／研究資料のデジタル化／バーチャル日本語情報資料館システム／日本語教育支援総合ネットワーク）
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 科学研究費補助金 基盤研究（A）（1）歴史情報資源活用システムと国際的アーカイブズネットワークの基盤構築に向けての研究（分担者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『写真で見る国立国語研究所の歴史』、2004年12月公開

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「アーカイブズにおける記述標準化の動向」、日本図書館情報学会研究委員会 編『図書館目録とメタデータ：情報の組織化における新たな可能性』、pp.145-164、勉誠出版、2004年10月
- 「アーカイブズの情報標準化動向」、デジタルアーカイブ推進協議会 編『デジタルアーカイブ白書 2005』、pp.118-119、デジタルアーカイブ推進協議会、2005年3月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「写真で見る国立国語研究所の歴史」、第24回ことばフォーラム「国立国語研究所の歩みー西が丘時代を中心にー」、2004年12月
- 「アーカイブズシステムの構築をめざして」、地方史研究協議会文書館問題ワーキンググループ企画例会「民間所在史料のゆくえ：文書館・公文書館の役割を考え直す」、2004年9月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 国立国語研究所研究活動一覧(平成15年度)、企画・編集
- 『平成16年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究台湾アンケート調査集計結果報告書』、刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 研究企画調整部会「研究活動一覧」作成作業班員
- 移転整備実施委員会 図書館移転・公開作業班員

エ. 見学者への対応等 4件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本アーカイブズ学会委員 (編集担当)



朝日祥之 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の現在 (意識調査)
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成 (電子化報告書・資料集等/研究資料のデジタル化/バーチャル日本語情報資料館システム/インターネットによる海外提供システム)
- 大学院教育 (日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究 (C) (2) 外国人定住者の社会的統合に関する政策提言のための実態調査 (分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『外来語に関する意識調査II (全国調査)』, 2005年3月
- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, 問答1件, 解説1件, 2005年3月
- 『国語研の窓』, 1件

D 論文集等に掲載された論文

- 「東海地方に居住する日系ブラジル人の言語使用ーポルトガル語と日本語の使い分けを中心にー」, 『外国人定住者の社会的統合に関する政策提言のための実態調査 (科学研究費補助金基盤研究(C) (2) 研究成果報告書)』, pp.21-30, 2005年3月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 高野照司, 朝日祥之, 太田一郎: 「ことばのバリエーションをつかまえる: 分析ツールとしての VARBRUL プログラムの活用法と隣接分野への応用」, 『社会言語科学会第14回大会発表論文集』, pp.221-222, 社会言語科学会, 2004年9月
- 「言語接触研究における分析ツールとしての VARBRUL」, 『社会言語科学会第14回大会発表論文集』, pp.227-228, 社会言語科学会, 2004年9月
- 朝日祥之, 吉岡泰夫, 相澤正夫: 「自治体職員の行政コミュニケーションに見られる地域差」, 『日本方言研究会第79回研究発表会原稿集』, pp.43-52, 日本方言研究会, 2004年11月
- 吉岡泰夫, 朝日祥之, 相澤正夫: 「首長・自治体職員の行政コミュニケーション意識」, 『日本語学会 2004年度秋季大会 原稿集』, pp.151-158, 日本語学会, 2004年11月
- 相澤正夫, 朝日祥之, 吉岡泰夫: 「行政コミュニケーションにおける外来語・略語・専門用語の問題点」, 『社会言語科学会第15回大会発表論文集』, pp.52-55, 社会言語科学会, 2005年3月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「サハリンに残存する日本語の地位とその言語的特徴について」, 第 110 回変異理論研究会, 2004 年 5 月
- 「サハリンで生まれた共通語について」, 第 111 回変異理論研究会, 2004 年 7 月
- 「日本語のスタイル変異を記述する枠組みを探る」, 日本語音声のピッチ平坦化現象に関する研究会, 2004 年 8 月
- Eric Long, Yoshiyuki Asahi, Yukiko Wada, Shoichi Yokoyama, & Hiroyuki Sasahara: "The National Institute for Japanese Language as a Governmental Research Institute; Partnerships with the Ministry of Economy, Trade and Industry," *Japanese Studies Association of Canada conference 2004*, 2004 年 10 月
- "On the emergence of a New Town Koine in Japanese context," *Linguistic Colloquia series 2004 Fall*, Department of Linguistics and Germanic, Slavic, Asian and African Languages, Michigan State University, 2004 年 10 月
- 「これからの日本の社会言語学における方言接触研究」, 日本海総合研究プロジェクト平成 16 年度第 2 回公開研究会『日本の社会言語学とは—新しい学の創造にむけた富山からの提言—』, 2004 年 12 月
- 「位相研究とスタイル変異研究との接点を求めて」, 日本語音声のピッチ平坦化現象に関する研究会, 2005 年 1 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第 20 回ことばフォーラム 「ことばビデオ」方言の旅—庄内方言の集い—, 協力

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ 18 伝え合いの言葉』, 企画・編集
- 『日本語社会における配慮の言語行動』, 刊行物検討委員会委員
- 『外来語に関する意識調査 II (全国調査)』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 社会言語科学会 研究大会委員
- 変異理論研究会 世話人

ウ. 教育活動

- 恵泉女学園大学人文学部非常勤講師（集中講義）



小高京子（研究員）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（電子化報告書・資料集等／研究資料のデジタル化／日本語教育支援総合ネットワーク／バーチャル日本語情報資料館システム）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『写真で見る国立国語研究所の歴史』, 2004年12月公開

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成16年度 国立国語研究所公開研究発表会「これからの日本語学習支援を考えるー学びを支えるモノ・ヒト・コトー」, 企画・運営

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 公開研究発表会部会員



塚田実知代 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 言葉に関する電話質問等への対応
- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(学校敬語・敬意表現調査報告)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「第4章 受諾場面における配慮の表現」, 『日本語社会における配慮の言語行動』, pp.61-84, 2005年3月
- 杉戸清樹・尾崎喜光・塚田実知代: 「第1章 研究目的と調査概要」, 『日本語社会における配慮の言語行動』, pp.1-12, 2005年3月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第20回ことばフォーラム 「「ことばビデオ」方言の旅ー庄内方言の集いー」, 企画・運営
- 第21回ことばフォーラム 「こんにちは“コッケン”です。ーみなさんの質問からー」, 企画・運営
- 第22回ことばフォーラム 「現代の外来語」, 企画・運営
- 第23回ことばフォーラム 「外来語とどう付き合うか」, 企画・運営
- 第24回ことばフォーラム 「国立国語研究所の歩みー西が丘時代を中心にー」, 企画・運営

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員

磯部よし子（研究員）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（電子化報告書・資料集等／研究資料のデジタル化／日本語教育支援総合ネットワーク／バーチャル日本語情報資料館システム）
- 科学研究費補助金 研究成果公開促進費 『日本言語地図』データベース（分担者）
- 科学研究費補助金 研究成果公開促進費 地域言語の共通語化 40 年経年調査データベース（分担者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『写真で見る国立国語研究所の歴史』, 2004 年 12 月公開

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 国立国語研究所研究活動一覧(平成 15 年度), 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 研究企画調整部会「研究活動一覧」作成作業班員



米田純子（研究員）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（日本語教育支援総合ネットワーク／インターネットによる海外提供システム）
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 電子政府 6 万字種データベースに準拠した海外日本語研究者向け Web 漢字辞書の作成（分担者）

2 成果公表活動

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- Yokoyama Shoichi, Long Eric, Yoneda Junko, Wada Yukiko, Kuroda Shnjiro & Shimokawa Kazuo: "Web IME: Web-based Japanese input method editor applied to a search system for library catalogues," *IPSJ SIG Technical Report*," Vol.2004-DD-46 No.(7), pp.43-47, 情報処理学会, 2004 年 9 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第 21 回ことばフォーラム 「こんにちは“コッケン”です。ーみなさんの質問からー」, 協力
- 第 22 回ことばフォーラム 「現代の外来語」, 協力

- 第24回ことばフォーラム 「国立国語研究所の歩み－西が丘時代を中心に－」，協力
- イ．研究所刊行物の企画・編集・協力等
 - 『国語研の窓』，企画・編集
- ウ．各種委員会・部会，研究支援等
 - 普及広報委員会 国語研の窓部会員
 - ネットワーク管理業務

平成16年度

研究会議・研究発表一覧

所内委員会委員・部会員一覧

刊行物検討委員会一覧

所内見学者一覧

招へい研究員一覧

非常勤研究員等一覧

滞在研究員受入一覧

外国出張一覧

平成 16 年度研究会議・研究発表一覧

氏名	発表題目
森本祥子	国語研究所の研究資料保存の流れについて －庁舎移転に伴う資料移管作業の推進を中心に－
朝日祥之	移住者社会で生まれた言語変種の形成過程について
丸山岳彦	現代日本語の従属節をめぐって －その統語的位置づけと語用論的解釈－
金田智子	「ことばビデオ」シリーズ第 4 作について
熊谷智子	新「ことば」シリーズ 18 の作成について
笹原宏之	要望から見た人名用漢字
笹原宏之・横山詔一	汎用電子（電子政府）プロジェクトについて
森本祥子	XML を用いた資料情報検索システムの構築について
宇佐美洋	新「ことば」シリーズ 17 について
野山広	地域における日本語学習支援方策の現状に関する多文化教育的一考察 －国内外の外国人受入れ施策及び言語教育施策の展開を事例として－

平成 16 年度所内委員会一覧 (◎印：委員長 ○印：部会長・班長 ※印：管理部職員)

研究計画委員会

◎甲斐睦朗 菫澤弘志 七五三掛哲郎※ (1月31日まで) 鷺見高志※ (2月1日から)
相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄 吉岡泰夫 米田正人 山崎誠
前川喜久雄 井上優 柳澤好昭 伊藤雅光 横山詔一

研究計画委員会 研究企画調整部会

○杉戸清樹 相澤正夫 熊谷康雄 七五三掛哲郎※ (1月31日まで)
鷺見高志※ (2月1日から)

研究計画委員会 研究企画調整部会「研究活動一覧」作業班

○相澤正夫 梶本総子 森本祥子 磯部よし子 田島正幸※

研究計画委員会 知的財産権部会

○山崎誠 柳澤好昭 田中牧郎 池田理恵子 菅井英明 新井田貴之※

研究計画委員会 「日本語科学」編集部会

○井上優 山崎誠 三井はるみ 小椋秀樹 小磯花絵 福永由佳
梶本総子 斎藤達哉

国際交流委員会

◎甲斐睦朗 菫澤弘志 七五三掛哲郎※ (1月31日まで) 鷺見高志※ (2月1日から)
相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄 吉岡泰夫 米田正人 山崎誠
前川喜久雄 井上優 柳澤好昭 伊藤雅光 横山詔一

国際交流委員会 研究交流企画部会

○杉戸清樹 相澤正夫 熊谷康雄 七五三掛哲郎※ (1月31日まで)
鷺見高志※ (2月1日から)

普及広報委員会

◎甲斐睦朗 菫澤弘志 七五三掛哲郎※ (1月31日まで) 鷺見高志※ (2月1日から)
相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄 吉岡泰夫 米田正人 山崎誠
前川喜久雄 井上優 柳澤好昭 伊藤雅光 横山詔一
熊谷智子 宇佐美洋 金田智子 新野直哉 田島正幸※

普及広報委員会 企画調整部会

○相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄 七五三掛哲郎※ (1月31日まで)
鷺見高志※ (2月1日から)

普及広報委員会 国語研の窓部会

○新野直哉 大西拓一郎 辻野都喜江 米田純子 田島正幸※

普及広報委員会 普及啓発図書企画部会

○杉戸清樹 田中牧郎 山田貞雄 菅井英明 藤崎敏雄※

普及広報委員会 概要部会

○田島正幸* 三井はるみ 植木正裕 齋藤達哉

普及広報委員会 英文概要部会

○前川喜久雄 横山詔一 熊谷智子 井上優 田島正幸*

普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会

○熊谷智子 三井はるみ 小沼悦 植木正裕 朝日祥之 塩田俊仁*

普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会

○金田智子 尾崎喜光 當眞千賀子(6月30日まで) 福永由佳 小河原義朗
佐々木和彦*

普及広報委員会 公開研究発表会部会

○宇佐美洋 柏野和佳子 小高京子 高山和男*

普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会

○伊藤雅光 横山詔一 野山広 山田貞雄 丸山岳彦 塚田実知代
田島正幸*

図書館運営委員会

◎蕪澤弘志 七五三掛哲郎*(1月31日まで) 鷺見高志*(2月1日から)
相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄 前川喜久雄 柳澤好昭 伊藤雅光
井上文子

図書館運営委員会 企画部会

○七五三掛哲郎*(1月31日まで) 鷺見高志*(2月1日から) 相澤正夫
杉戸清樹 熊谷康雄

図書館運営委員会 図書選定部会

○伊藤雅光 井上文子 丸山岳彦 梶本総子 早田美智子 齋藤達哉
中山典子 朝日祥之 藤崎敏雄*

ネットワーク運営委員会

◎熊谷康雄 相澤正夫 杉戸清樹 七五三掛哲郎*(1月31日まで)
鷺見高志*(2月1日から) 山崎誠 前川喜久雄 柳澤好昭 横山詔一
山口昌也 植木正裕

ネットワーク運営委員会 ネットワーク基盤整備部会

○横山詔一 小磯花絵 植木正裕 佐々木和彦*

ネットワーク運営委員会 ネットワーク・ホームページ運用管理部会

○山崎誠 宇佐美洋 池田理恵子 山口昌也 高山和男*

大学院運営委員会

◎甲斐睦朗 蕪澤弘志 七五三掛哲郎*(1月31日まで) 鷺見高志*(2月1日から)
相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄 山崎誠 前川喜久雄 井上優
柳澤好昭 横山詔一 熊谷智子 金田智子 梶本総子 塩田俊仁*

大学院運営委員会 政研大企画調整部会
○杉戸清樹 柳澤好昭 横山詔一 七五三掛哲郎※(1月31日まで)
鷺見高志※(2月1日から) 塩田俊仁※
大学院運営委員会 政研大修士課程部会
○柳澤好昭 熊谷智子 梶本総子 塩田俊仁※

大学院運営委員会 政研大博士課程部会
○杉戸清樹 横山詔一 金田智子 塩田俊仁※

大学院運営委員会 一橋大部会
○井上優 山崎誠 前川喜久雄 七五三掛哲郎※(1月31日まで)
鷺見高志※(2月1日から) 塩田俊仁※

施設整備委員会

◎菫澤弘志 七五三掛哲郎※(1月31日まで) 鷺見高志※(2月1日から)
相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄 山崎誠 前川喜久雄
井上優 柳澤好昭 伊藤雅光 横山詔一

情報公開委員会

◎熊谷康雄 相澤正夫 杉戸清樹 七五三掛哲郎※(1月31日まで)
鷺見高志※(2月1日から) 山崎誠 井上優 伊藤雅光

セクシャル・ハラスメント防止委員会

◎熊谷康雄 七五三掛哲郎※(1月31日まで) 鷺見高志※(2月1日から)
三井はるみ 金田智子 田島正幸※ 権藤智香子※

レクリエーション委員会

◎米田正人 菅井英明 中山典子 塩田俊仁※

外来語所内委員会

◎甲斐睦朗 菫澤弘志 七五三掛哲郎※(1月31日まで) 鷺見高志※(2月1日から)
相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄 山崎誠 田中牧郎

外来語所内委員会 相談窓口部会

○熊谷康雄 横山詔一 山田貞雄 田島正幸※

移転整備実施委員会

◎甲斐睦朗 菫澤弘志 七五三掛哲郎※(1月31日まで) 鷺見高志※(2月1日から)
相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄

移転整備実施委員会 移転整備作業班

○七五三掛哲郎※(1月31日まで) 鷺見高志※(2月1日から) 前川喜久雄
柳澤好昭 伊藤雅光 田島正幸※ 佐々木和彦※

移転整備実施委員会 ネットワーク基盤移転整備作業班

○熊谷康雄 山崎誠 横山詔一 山口昌也 植木正裕 佐々木和彦※

移転整備実施委員会 図書館移転・公開作業班

○熊谷康雄 伊藤雅光 三井はるみ 金田智子 井上文子 早田美智子
森本祥子 佐々木和彦*

次期中期計画小委員会

◎杉戸清樹 七五三掛哲郎* (1月31日まで) 鷺見高志* (2月1日から)
前川喜久雄 井上優 横山詔一

平成 16 年度刊行物検討委員会一覧（○印：委員長）

『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成』第 8 巻～10 巻
（国立国語研究所資料集 13-8～13-10）

○熊谷康雄 熊谷智子 三井はるみ 井上文子 井上優

『日本語教育ブックレット』

7「話しことば教育における学習項目」

8「作文教育における日本語教師と大学専門教員との協力のために」

○杉戸清樹 井上優 三井はるみ 井上文子

『現代雑誌の語彙調査－1994 年発行 70 誌－』

（国立国語研究所報告 121）

○相澤正夫 山崎誠 菅井英明 伊藤雅光

『雑誌「太陽」による確立期現代語の研究－『太陽コーパス』研究論文集－』

（国立国語研究所報告 122）

○相澤正夫 田中牧郎 宇佐美洋 横山詔一

『日本語社会における配慮の言語行動』

○相澤正夫 尾崎喜光 野山広 朝日祥之

『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究報告書 世界の言語テストⅡ』

○杉戸清樹 尾崎喜光 井上優 杉本明子 菅井英明 横山詔一

『平成 16 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 台湾アンケート調査
集計結果報告書』

○杉戸清樹 井上優 金田智子 山口昌也 森本祥子

平成16年度所内見学者一覧

※ 以下にあげたものは、公的な依頼を受けたものである。
そのほかにも、国の内外から随時来訪者があり、関係する研究職員が対応した。

見学日

見学者

平成16年

4月16日	財団法人日本国際協力センター（1名）
5月12日	富山県新湊市新湊西部中学校（2名）
6月 1日	愛知県新川町立新川中学校（5名）
7月 2日	弘前大学（12名）
9月 1日	皇學館大學（5名）
9月17日	大田区立羽田中学校（3名）
11月15日	板橋区立志村第一中学校（7名）

平成16年度招へい研究員一覧

氏名 / 国籍	所属 / 期間
冷 麗敏 (中華人民共和国)	北京師範大学外文学院日本語学部助教授 平成15年10月1日～平成18年9月30日
グエン・ティ・ビック・ハー (ベトナム社会主義共和国)	ハノイ貿易大学日本学科長 平成16年3月26日～平成16年4月1日
デービットP. B. マサンバ (タンザニア連合共和国)	タンザニア大学教授 平成16年3月26日～平成16年4月9日
趙 南浩 (大韓民国)	韓国国立国語研究院 平成16年3月26日～平成16年4月9日
徐 一平 (中華人民共和国)	北京日本学研究センター主任 平成16年8月5日～平成16年8月9日
曹 大峰 (中華人民共和国)	北京日本学研究センター副主任 平成16年8月4日～平成16年8月11日
徐 敏民 (中華人民共和国)	華東師範大学外国語学院日本語学部長 平成16年11月14日～平成16年11月19日
ユバカー・スイリボンパイブーン (タイ王国)	泰日経済技術振興協会附属語学学校専任講師 平成16年10月1日～平成19年9月30日

平成 16 年度非常勤研究員一覧

研究開発部門

第一領域

非常勤研究員

//

//

//

//

研究補佐員

//

//

//

第二領域

非常勤研究員

//

//

//

//

研究補佐員

//

飯間浩明
近藤明日子
半沢康
宮田公治
エリク・ロング (併)

井手順子
桐生りか
虎岩千賀子
和田志子

籠宮隆之
菊池英明
篠崎晃一
藤本雅子
米山聖子
阿左美厚子
永山美穂

非常勤研究員

//

//

//

研究補佐員

//

//

非常勤研究員

//

//

//

研究補佐員

//

小木曾智信
田中ゆかり
間淵洋子 (併)
茂木俊伸

稲益佐知子
寺田紗知子
吉田谷幸宏

亀田裕見
小西いずみ
西川賢哉
間淵洋子

相馬さつき
吉田雅子

日本語教育部門

第一領域

非常勤研究員

//

//

研究補佐員

事務補佐員

池田玲子
下平菜穂
峯布由紀
成田高宏
佐藤真理緒

非常勤研究員

//

//

事務補佐員

//

岡部真理子
富谷玲子
籠宮隆之 (併)
笠井淳子
福富七重

第二領域

非常勤研究員

//

//

研究補佐員

事務補佐員

//

稲垣陽子
金子史朗
任都栗新
井上義勝
小根山美鈴
高橋悦子

非常勤研究員

//

//

事務補佐員

//

//

加藤久枝
黒崎誠
水野千佳子
李銀淑
篠崎佳子
濱川祐紀代

情報資料部門

第一領域

研究補佐員

事務補佐員

竹部歩美
加納恵子

事務補佐員

加藤論子

第二領域
非常勤研究員

エリック・ロング

事務補佐員

宮崎ユカ

平成16年度滞在研究員受入一覧

(新規受入者及び平成16年度在籍滞在研究員等を含む)

氏名 / 国籍	所属 / 期間	指導担当
ガトラスキ, ホリー・イル (アメリカ合衆国)	ミネソタ大学言語学科準教授 平成15年5月21日～平成16年9月3日	熊谷智子
馮 峰 (中華人民共和国)	清華大学外国語学部日本語学科教授 平成16年7月20日～平成17年7月19日	井上 優
袁 麗梅 (中華人民共和国)	長春工程学院外国語学部日本語研究室助教授 平成16年9月1日～平成17年8月31日	井上 優
李 琺寧 (特別研究生) (中華人民共和国)	北京日本学研究中心一大学院博士課程在籍 平成16年4月1日～平成17年3月3日	井上 優

平成16年度外国出張一覧

※ 以下にあげたものは、公費による出張のみである。

氏名	用務 / 用務先 / 期間
甲斐睦朗	学術交流協定の締結，情報交換，施設見学 中華人民共和国 平成17年1月12日～平成17年1月15日
七五三掛哲郎	学術交流協定の締結，情報交換，施設見学 中華人民共和国 平成17年1月12日～平成17年1月15日
相澤正夫	北京日本学研究中心論文審査の審査会議に出席 中華人民共和国 平成16年12月13日～平成16年12月18日
杉戸清樹	日韓相互理解リソース協働開発プロジェクト 大韓民国 平成16年6月3日～平成16年6月4日 学術交流協定の締結，情報交換，施設見学 中華人民共和国 平成17年1月12日～平成17年1月15日
佐々木和彦	学術交流協定の締結，情報交換，施設見学 中華人民共和国 平成17年1月12日～平成17年1月15日
米田正人	韓国日本語学会において「日中韓学生意識調査」に関する研究発表，及び次年度実施予定の学生意識調査の打ち合わせ 大韓民国 平成16年9月17日～平成16年9月22日
柳澤好昭	日韓相互理解リソース協働開発プロジェクト 大韓民国 平成16年6月3日～平成16年6月4日 IT研修12月展示会についての打ち合わせ，「日本語教育におけるITの活用」についての研修

台湾
平成16年10月2日～平成16年10月5日
e-japan IT研修
大韓民国
平成16年11月18日～平成16年11月21日

韓国外国語教育学会2004年冬国際学術大会での講演
大韓民国
平成16年12月17日～平成16年12月18日

熊谷智子 北京日本学研究中心論文審査の審査会議に出席
中華人民共和国
平成16年12月13日～平成16年12月18日

宇佐美洋 第9回ヨーロッパ日本語教育シンポジウムでの発表とヨーロッパでの情報収集
フランス共和国
平成16年8月25日～平成16年9月1日

金田智子 学習手段台湾調査に関わる準備会議及びインタビュー
台湾
平成16年6月5日～平成16年6月11日

調査協力者との会合（調査結果中間報告，報告書作成に関する討議）及びインタビュー調査の実施
台湾
平成17年3月10日～平成17年3月13日

小河原義朗 マレーシア調査の打ち合わせ 他
マレーシア
平成16年4月21日～平成16年4月25日

現地日本語教師に対するインタビュー
マレーシア
平成16年11月7日～平成16年11月13日

韓国日本語学会第70回国際大会での発表，ソウル地域での学習者へのインタビュー調査の実施
韓国
平成17年2月16日～平成17年2月19日

インタビュー調査・来年度現地セミナー開催打ち合わせ
マレーシア
平成17年3月3日～平成17年3月8日

- 梶本総子 第17回日本語教育連絡会議
トルコ共和国
平成16年8月16日～平成16年8月23日
- 植木正裕 e-japan巡回指導「インターネットを活用した文法教育」「多言語化プロジェクト・日日辞書開発」についてルーバン大学でセミナー及び打ち合わせ他
ベルギー王国, フランス共和国
平成16年8月21日～平成16年8月29日
- 日韓相互理解リソース協働開発プロジェクト
大韓民国
平成16年11月21日～平成16年11月25日
- 斎藤達哉 韓国日本文化学会2004年度秋季国際学術研究発表会での研究発表 他
大韓民国
平成16年10月29日～平成16年11月2日
- 朝日祥之 インターネットによる日本語・日本語事情関連情報の海外提供システムの開発に関する情報収集
サハリン
平成16年9月24日～平成16年10月1日
- 学会発表及び情報収集
カナダ
平成16年10月6日～平成16年10月19日
- 茂木俊伸 東欧における日本語研究の現状把握と研究協力・連携のための準備的交流
スロベニア共和国
平成17年2月26日～3月6日

平成16年度
国立国語研究所刊行物一覽

平成16年度国立国語研究所の刊行物

書名	市販品刊行元	刊行年月
年鑑		
『国語年鑑』2004年版	大日本図書	平成16年11月
『日本語教育年鑑』2004年版	くろしお出版	平成16年12月
国立国語研究所報告		
121 『現代雑誌の語彙調査－1994年発行70誌－』		平成17年3月
122 『雑誌「太陽」による確立期現代語の研究 －「太陽コーパス」研究論文集－』	博文館新社	平成17年3月
国立国語研究所資料集		
13-8 『全国方言談話データベース第8巻 日本のふるさとことば集成 長野・山梨・静岡』	国書刊行会	平成16年6月
13-9 『全国方言談話データベース第9巻 日本のふるさとことば集成 岐阜・愛知・三重』	国書刊行会	平成16年9月
13-10 『全国方言談話データベース第10巻 日本のふるさとことば集成 富山・石川・福井』	国書刊行会	平成16年12月
15 『太陽コーパス －雑誌「太陽」日本語データベース－』	博文館新社	平成17年3月
日本語科学		
『日本語科学』15	国書刊行会	平成16年4月
『日本語科学』16	国書刊行会	平成16年10月
新「ことば」シリーズ		
18 『伝え合いの言葉』	国立印刷局	平成17年3月
「ことばビデオ」シリーズ		
『豊かな言語生活をめざして 4 暮らしの中の『あいまいな表現』』	東京シネ・ビデオ	平成17年3月

国立国語研究所日本語教育短期研修報告書

『日本語教育ブックレット7
話しことば教育における学習項目』 平成17年3月

『日本語教育ブックレット8
作文教育における日本語教師と大学専門教員との協力のために』 平成17年3月

日本語教育論集

『日本語教育論集』21 平成17年3月

国際シンポジウム報告書

第11回国立国語研究所国際シンポジウム報告書 平成17年3月
『世界の〈外来語〉の諸相 標準化・活性化を目指す言語政策の多様性』

その他内部資料等

『平成16年度 国立国語研究所公开发表会予稿集』 平成16年10月

『第3回「外来語」言い換え提案－分かりにくい外来語を
分かりやすくするための言葉遣いの工夫－』 平成16年10月

『平成15年度日本語教育の学習環境と学習手段に関する
調査研究～韓国アンケート調査結果報告書（韓国語版）』 平成16年11月

『海外言語政策関連参考資料3 ホンヤク社 平成17年3月
韓国漢字教育と漢字政策についての国際学術会議 予稿集』

『日本語教育の学習環境と学習手段に関する
調査研究報告書・世界の言語テストII』 平成17年3月

『平成16年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究
台湾アンケート調査集計結果報告書』 平成17年3月

『外来語に関する意識調査II（全国調査）』 平成17年3月

『日本語社会における配慮の言語行動』 平成17年3月

『国立国語研究所研究活動一覽』
作成作業班

相澤 正夫

山口 昌也

梶山 総子

朝日 祥之

磯部よし子

関 達夫

国立国語研究所研究活動一覽（平成16年度）

Annual Report of Research Activities
The National Institute for Japanese Language
April 2004 - March 2005



平成17年5月31日 発行

編集：独立行政法人 国立国語研究所
研究計画委員会研究企画調整部会
『国立国語研究所研究活動一覽』
作成作業班

発行：独立行政法人 国立国語研究所
〒190-8561 東京都立川市緑町3591-2
電話：042 (540) 4300（代表）
FAX：042 (540) 4333
URL：http://www.kokken.go.jp

（平17-2）